

魔法の☆エネルギーワーク

Ver: 1.10

このドキュメントは、『魔法使い A-Ki☆。』（以下、A-Ki）が提供するアチューンメントである

- セルフエナジーコネクション
- ハイヤーコネクション
- スピリチュアル基本セット
- ガイドに対する『指導の仕方』指導
- 高次の世界への誘導

いずれかを受けた方向けの『フォローアップ資料』です。

そのため、基本的には、「A-Ki からアチューンメントを受けた方向けの内容」となっています。

本ドキュメントには、A-Ki からアチューンメントを受けた方以外にも役立つような『エネルギーワーク全般に関わる情報』を盛り込んでいますが、そうした方（のハイヤーセルフやガイドたち）が、ここに書かれている内容を全て実現できるとは限りませんので、このテキストを参考にエネルギーワークを行う際には、各自で、

「自分（自分のハイヤーセルフ、あるいは、自分のガイドたち）が、どこまで出来るかを、確認・検証」

していただければと思います。

1. はじめに

1.1. このドキュメントについて

本書は、「魔法使いA・Ki☆。からアチューンメントを受けた人」に向けての『フォローアップ資料』です。

基本的には、『アチューンメントを受けた人用の資料』とはいえ、

「エネルギーワークにおける一般的な知識は、アチューンメントを受けた人以外にも参考になる」

ということもあり、

情報のシェアという位置づけで、一般にも無償公開することにしました。

1.2. アチューンメントの申し込み方法

アチューンメントご希望の方は、サイトからお申し込みください。

<http://f1144.mahou-gakkou.net/attunement/>

1.3. 関連する学びについて

アチューンメントに併せて、

【魔法使い養成講座・基礎編（無料）】 (<http://f1144.mahou-gakkou.net/mailseminar/kiso/>)

【チャネリングコース（有料）】 (<http://f1144.mahou-gakkou.net/mailseminar/channeling/>)

【ブロック解除ワーク（無料）】 (<http://f1144.mahou-gakkou.net/liberation/>)

を、受講されることをオススメします。

特に、

「スピリチュアルな能力を最大限使いこなしていくためには、『チャネリング』の修得は必須」

といっても過言ではありませんので、

【チャネリングコース】の受講は、強く推奨します。



(<http://f1144.mahou-gakkou.net/mailseminar/channeling/>)

なお、【チャネリングコース】を受講するには、事前に【オリエンテーション・メールセミナー】を受講し、入学試験に合格する必要があります。



(<http://f1144.mahou-gakkou.net/mailseminar/orientation/>)

目次

1. はじめに.....	2
1.1. このドキュメントについて.....	2
1.2. アチューンメントの申し込み方法.....	2
1.3. 関連する学びについて.....	2
2. スピリチュアルワークに関する基本的な知識について.....	5
2.1. スピリチュアルな世界と物質世界の関係.....	5
2.2. スピリチュアルな世界の基本的な構造.....	7
2.3. 高次の存在について.....	8
(コラム) 高次の存在は万能ではない・1.....	8
2.4. エネルギーワークに関する概要.....	9
2.5. チャネリングに関する概要.....	10
2.6. その他のスピリチュアルワーク.....	11
(コラム) 信じなくても効果がある.....	11
2.7. 超感覚の知覚タイプについて.....	12
2.8. 自由意思について.....	13
(コラム) 病気や貧乏を望む人たち.....	13
2.9. 自分の体験を優先させることの重要性.....	14
2.10. 能力と人格は関係が無い.....	15
2.11. スピリチュアルな世界における技術革新.....	16
(コラム) レイキの新バージョン.....	16
3. エネルギーワークの基礎知識.....	17
3.1. ヒーリングと浄化について.....	17
(コラム) ヒーリングは医療行為ではない.....	17
3.2. エーテルコードのカットとプロテクションについて.....	18
3.3. エネルギーの扱い方について.....	19
3.4. エネルギーの使い分けについて.....	20
3.5. エネルギーの『質』と『量』について.....	21
3.6. エネルギーの体感について.....	22
3.7. 好転反応について.....	23
(コラム) エネルギーの源泉が潰れることもある.....	24
4. アチューンメントについて.....	25
4.1. アチューンメントとは.....	25
(コラム) アチューンメントを受けないとエネルギーが扱えないか?.....	26
4.2. アチューンメントの質について.....	27
4.3. ライトワーカーの選び方について.....	29
4.4. エネルギーの選び方について.....	30
4.5. アチューンメントの受け取り方.....	31
(コラム) アチューンメントを受けた方が良い人、受けてはいけない人.....	32
5. 魔法使い A-Ki☆ が提供しているアチューンメントについて.....	33
5.1. スピリチュアル基本セットのアチューンメントについて.....	35
(コラム) 高次の存在に対する教育の必要性.....	36
5.2. セルフエナジーコネクション・アチューンメントについて.....	37
5.3. ハイヤーコネクション・アチューンメントについて.....	41
(コラム) 高次の存在間の人間関係.....	42
5.4. ガイドに対する『指導の仕方』指導.....	43

(コラム) ガイドの入れ替わりと引継ぎについて	44
(コラム) 高次の存在は万能ではない・2	46
5.5. 高次の世界への誘導について	47
6. ヒーリングセッションの実践.....	49
6.1. ヒーリングを行う際の注意点について	49
6.2. 効率良くエネルギーを流すためのポイント.....	50
《ワーク》エネルギーを拒否する実験	50
(コラム) 受け手の同意を得ることについて	50
6.3. ヒーリングセッションの流れについて	51
6.4. プロとして活動することについて.....	53
(コラム) 検証することの大事さ	54
7. エネルギーワークに関する応用知識・実践	55
7.1. エネルギーグッズ製作について.....	55
(コラム) 神社のお守りについて	56
7.2. 浄霊について	57
(コラム) 退魔師の行き着くところ.....	58
7.3. 知覚を開くためのトレーニング法.....	59
《ワーク》視覚強化トレーニング	59
《ワーク》ガイドとの文通.....	59
《ワーク》体感覚強化トレーニング.....	60
《ワーク》エネルギー肩もみ(2人用)	60
《ワーク》超感覚強化トレーニング(2人用)	60
おわりに	61

2. スピリチュアルワークに関する基本的な知識について

本章では、『スピリチュアルワーク全般に関する基礎的な知識』についてお伝えします。

2.1. スピリチュアルな世界と物質世界の関係

多くの人が、『**選ばれた特別な人だけがスピリチュアル能力を扱うことができる**』という勘違いをしています。

しかし、実際のところ、

『スピリチュアルな世界は、万人にとって、とても身近なもの』
『スピリチュアルな世界は、物質世界と表裏一体』

です。

一見して不思議な世界に思えるのは、
単に『物質世界のルール』と『スピリチュアルな世界のルール』が少し違うからであって、
実は、

「スピリチュアルな世界は、理路整然としていて、『原因と結果のルール』がしっかりしているもの」
です。

だからこそ、ヒーリングなどの効果を「自分が望むタイミングで狙って発動させる」といったことが出来ますし、
エネルギーワークやチャネリングを「教える」ことも出来ます。

そして、実は、『スピリチュアルな世界』の方が「主」であり、この『物質世界』は「従」の関係にあります。

つまり、

『僕らの「本体」は、スピリチュアルな世界側に存在し、この物質世界に「分身体」を降ろしている』
『エネルギーの世界で起こったことが、物質世界に伝播する』

ということ。

これを物質世界風に表現したのが、「思考が現実を創っている」という言葉です。

本来は、

「誰でも、スピリチュアルな能力が扱えるのが当たり前」
「誰でも、ヒーリングが出来るのが当たり前」
「誰でも、チャネリングが出来るのが当たり前」

なのです。

● 多くの人が、『スピリチュアルな能力』を活用できていない理由

多くの人は、『スピリチュアルな能力』と、『高次の世界での記憶』を、「あえて、封印」しています。

その理由としては、

『人間という体験を100%楽しみ切るため』

『制限のある状態を楽しむため』

などが挙げられます。

これは、

「推理小説の犯人や、スポーツ試合の結果など、『先が見えない楽しみ』というのが存在する」

「サッカーの試合などで、『手を使ってはいけない』というルールがあることによってゲームが盛り上がる」

ということをイメージすると理解しやすいでしょう。

しかし、最近は、時代が変わって、

『能力や才能、個性、自分らしさをフルに発揮した状態で、かつ、人間を楽しむ』

という『新たな遊びのルール』に切り替わりつつあるため、

その影響として、『能力に覚醒する人』が増えてきています。

● 物質世界のルールに従う必要性

スピリチュアル業界では、『**「意図の力」「意識の力」を過大評価し、それらを万能だと思い込んでいる人**』を多々見かけますが、

『**物質世界で過ごす以上、物質世界的なルールに従う必要があるもの**』

です。

例えば、「**私は空を飛べる！100%飛べる！**」と完璧に意図したとしても、実際に崖から飛び降りたら、**まず間違いなく大けがをする**でしょう。

この物質世界においては、【引き寄せの法則】【波動の法則】以外にも、【重力の法則】など様々な法則が働いています。

ですから、『スピリチュアルな能力』や『意図の力』を過信せず、

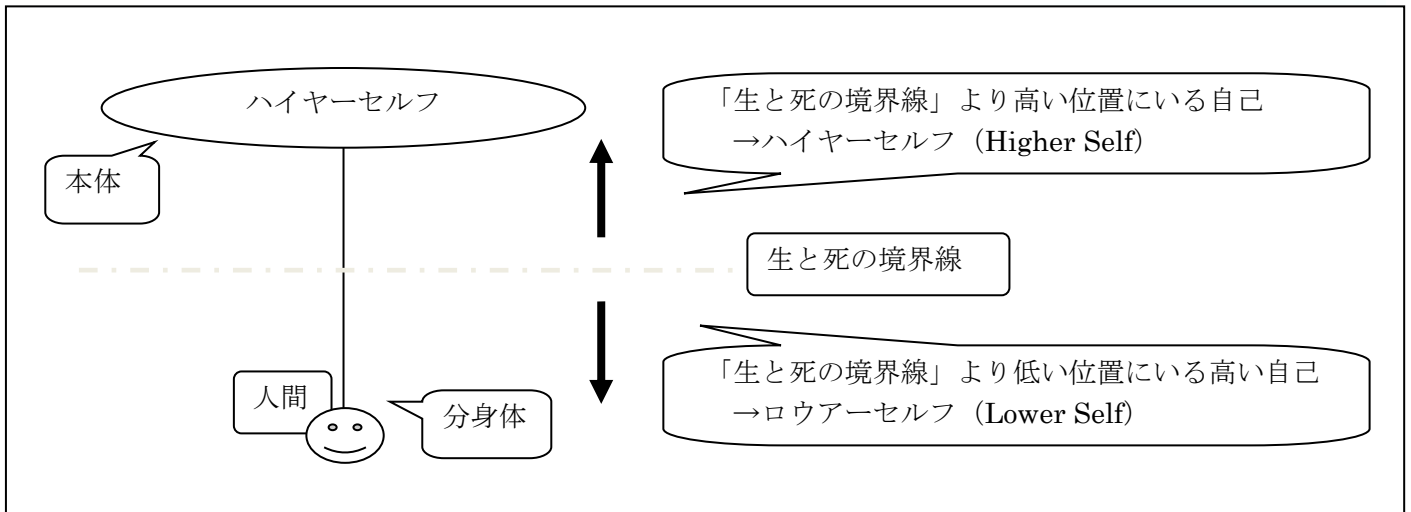
『**当たり前の『バランス感覚』を養って、『物質世界的なルール』に則った上で、能力を活用していくこと**』

というのが大事です。

2.2. スピリチュアルな世界の基本的な構造

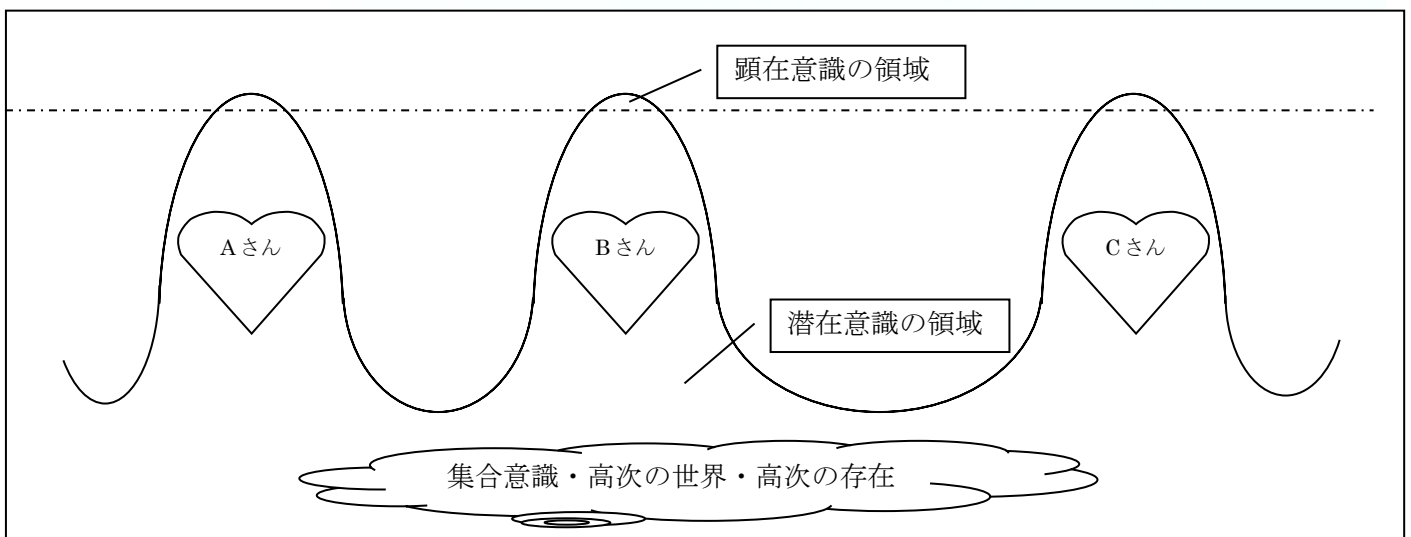
僕らの『本体』は、『高次の世界（高次元の世界・スピリチュアル空間・宇宙）』に存在しており、その本体のことを『ハイヤーセルフ（高次の自己・真我）』と呼びます。

この『ハイヤーセルフ』が、自分のほんの一部を、『人間』として、この物質世界に降ろしているわけです。



※実は、このハイヤーセルフの上にも、『ハイヤーセルフを束ねる存在』がいて、その上にも『さらに上位の本体的な存在』がいて・・・という構造になっているのですが、ここでは割愛します。

また、『意識の領域』として、『顕在意識』と『潜在意識』があり、高次の世界とは、以下の図のように『潜在意識』を介して繋がっています。



※『潜在意識』については、【無料メールセミナー・魔法使い養成講座】で解説していますので、そちらを参照してください。

<http://f1144.mahou-gakkou.net/mailseminar/kiso/>

2.3. 高次の存在について

『高次の世界』には、ハイヤーセルフ以外にも、

『ガイド』（非物質の世界に存在し、自分を導いてくれる存在。指導霊）

『守護霊』（非物質の世界に存在し、自分を守ってくれる存在。先祖がこの役割に就くことも多い）

『天使』

『妖精』（※物理体を持っていることもある）

『亡くなった人』

などといった、

様々な『**非物質の意識生命体（高次の存在）**』が存在します。

通常、こうした『高次の存在』は、人間に知覚することは出来ない（・・・ということになっている）ものの、『**チャネリング**』という技術（スキル）を習得することで、誰でも『高次の存在』とコミュニケーションを取ることが出来るようになります。

その他、『高次の世界』には、

『非物質の施設』（『ヒーリングセンター』や『アイデアセンター』、『計画センター』など）

『アカシックレコード』

『エネルギーワークの源泉』

なども存在し、

チャネリングの応用で、こうした世界を『肉体を持ちながら探索』することが出来るようになります。

（コラム）高次の存在は万能ではない・1

多くの方が思い違いをされているようですが、**高次の存在は、決して、万能な存在ではありません。**

確かに、彼らの視野や認識力は、人間のそれとは比べ物にならないほど広大であることが多いものの、時にはハイヤーセルフやガイドも間違え、勘違いすることだってあります。

天使や神様たちの力にも限界があり、何かを頼んだとしても、彼らの実力不足で叶わないということもあります。

実際、実験で確かめていますが、

「高次の存在に『浄化』を依頼しても、失敗するケースがある」

「高次の存在に『絶対に破られないプロテクション』を依頼しても、破られることがある」

ということも起こっています。

彼らの力を過大評価することなく、かつ、過小評価することなく、『**正當に評価**』していきましょう！

2.4. エネルギーワークに関する概要

『エネルギーワーク』というのは、ざっくり言ってしまうと、

『目に見えないエネルギーを扱う技術』

のことです。

エネルギーを利用することで、例えば、

『ヒーリング』(精神や肉体の癒し)

『浄化』(モノや場が持つネガティブエネルギーの除去)

『サイキックアタック』(エネルギー的な攻撃)

『プロテクション』(エネルギー的な攻撃に対する防御)

などを行うことができます。

(※「出来る」というだけで、サイキックアタックを推奨しているわけではありません。念のため^^)

エネルギーワークの世界は、直接目に見えないだけに、「不思議なことだと思われがち」ですが、

『エネルギーワークは、トレーニングで習得可能なもの』

『エネルギーを扱う能力は、アチューンメント(伝授)によって付与することが出来るもの』

『エネルギーを扱う能力は、「誰からも習うことなく自然と使っている」ということも多々あるもの』

です。

例えば、多くの人が、

「頭やお腹が痛くなった際に、そこに手を当てる」

「ぶつけて怪我をしたら、その箇所を手でさする」

などということを自然と行なったりしますが、

あれは、

「手から『癒しのエネルギー』を出せることを、本能的に知っているから」

なのです。

とはいえ、もちろん、

「自己流でなんとなくエネルギーを扱うよりも、

正しい理論のもとにトレーニングを積み重ねた方が、より効率よく、強力なエネルギーを扱えるようになる」

というのは言うまでもありません。

ですから、「エネルギーワークを仕事に活かそう」と思ったら、『相応の学びが必要』ということになります。

2.5. チャネリングに関する概要

『チャネリング』とは、

『「高次の存在」と「対話」出来るようになる技術（スキル）』

のことです。

『チャネリング』を習得すると、高次の存在からのメッセージを自在に受け取ることが出来るようになります。

スピリチュアルワークを行うにあたっては、高次の存在との連携が欠かせません。

実際、スピリチュアルセッションを行っている時、相手のハイヤーセルフやガイドからストップが掛かったり、あるいは、高次の存在から、「このアドバイスを伝えてほしい」と依頼されたりすることも多々あつたりします。

チャネリングを自在に行うことが出来れば、例えばヒーリングを行う際などにも、高次の存在に対して、

「そもそも、自分が干渉しても構わないのか？」

「どこまでサポートしてあげて OK か？」

「何のエネルギーを送ったら良いか？」

といったことを相談できるので、非常に便利です。

もし、「**プロのライトワーカーとして活動していきたい**」というのであれば、

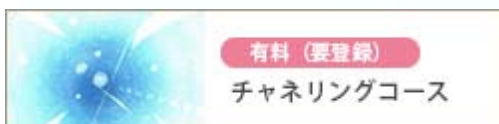
『チャネリングを習得するのは必須』

と言っても過言ではないでしょう。

● チャネリングの習得について

『チャネリング』も、エネルギーワーク同様、「トレーニング等で身に付けることが出来るもの」です。

チャネリングの習得に関しては、別途、有料メールセミナーの【**チャネリングコース**】を配信していますので、こちらを参照してください。



<http://f1144.mahou-gakkou.net/mailseminar/channeling/>

2.6. その他のスピリチュアルワーク

スピリチュアルワークには、『エネルギーワーク』や『チャネリング』以外にも、

- 『浄霊』（霊を天に還す）
- 『エーテルコードのカット』
- 『グラウンディング』
- 『ダウジング』
- 『カードリーディング』
- 『ブロック解除ワーク』

などなど、多種多様なワークがあり、そのほとんどをトレーニングで習得し、活用することが出来るようになります。

本ドキュメントでは、『魔法使い A-Ki☆。がアチューンメントを提供しているもの』に特化して説明を行いますので、それ以外のスピリチュアルワークに関しては、ここではカンタンに紹介するに留めます。

その他のスピリチュアルワークのいくつかは、

- 【魔法使い養成講座】 (<http://f1144.mahou-gakkou.net/mailseminar/kiso/>)
- 【ブロック解除ワーク】 (<http://f1144.mahou-gakkou.net/liberation/>)
- 【セクシャル×スピリチュアルコース】 (<http://f1144.mahou-gakkou.net/mailseminar/sexual/>)
- 【動画セミナー】 (<http://f1144.mahou-gakkou.net/movie/>)
- 【サイトのダウンロードページ】 (<http://f1144.mahou-gakkou.net/download/>)

などで情報を配信していますので、興味のある方は、これらを参照してくださいね。

(コラム) 信じなくても効果がある

多くの宗教では、「信じるのが大事です」「信じれば救われます」などと言っています。

ですが、実際は、『ホンモノのスピリチュアルワーク』であれば、

- 「たとえ信じなくても、『マニュアル通りのやり方』を行えば、効果が出るもの」
- 「自信が無くても効果が出るもの」

です。

例えば、自動車を運転するにあたって、「私はこんな鉄の塊が動くなんて信じない！動かす自信もない！」と思っても、エンジンをかけてアクセルを踏めば、とりあえず車は前に進むでしょう。

これと同様に、『ホンモノのスピリチュアルワーク』とは、『この世とあの世の法則』に則ったものであり、その通りにやれば、たとえ信じていなくても、自信が無くても効果が出るものなのです。

2.7. 超感覚の知覚タイプについて

スピリチュアルな世界の物事を『知覚』『認識』するにあたっては、普段使っている物質世界的な五感とは異なる『スピリチュアル的な超感覚』を用いる必要があります。

この『超感覚』は、人によって得意なタイプが異なっていて、大きく分けて、

- 視覚タイプ (Visual)
- 聴覚タイプ (Auditory)
- 体感覚タイプ (Kinesthetic)

という、3つのタイプに分類できます。

それぞれのタイプごとの「主な知覚の仕方」は、以下の通りです。

タイプ	主な知覚の仕方
視覚	「メッセージを映像として受け取ることが多い」 「エネルギーを光や色として感じる人が多い」 「YESのメッセージを受け取った時に、○が見えたりする」
聴覚	「メッセージを声として受け取ることが多い」 「エネルギーを音・振動・周波数として感じる人が多い」 「YESのメッセージを受け取った時に、ピンポンなどと音が鳴ったりする」
体感覚	「メッセージを直感的に受け取ることが多い」 「エネルギーを、温かさやビリビリ感として感じる人が多い」 「YESのメッセージを受け取った時に、身体が熱くなったりする」

※この分類は、あくまでも大まかな「どれが一番得意か」といった観点でのタイプ分けであって、『バランス型』の人もあります。
※体感覚の一種として、嗅覚や味覚で感じるケースもあります。

スピリチュアルワークにおいて、「メッセージが受け取れない」「エネルギーが分からない」という場合、

『特定の（自分のタイプと異なる）知覚で受け取ることにはこだわり過ぎていて、情報を取りこぼしている』

というケースがほとんどです。

執着を捨て、「『視覚』『聴覚』『体感覚』どれが来ても受け取るようにする」といった姿勢に切り替えるだけで、すぐにエネルギーを感じられるようになる人はたくさんいます。

なお、超感覚知覚はトレーニングで開いていきますから、トレーニング次第で、体感覚タイプの人でもビジョンが見えたり、視覚タイプの人エネルギーを体感したり出来るようになります。

ただし、**苦手な知覚を無理に伸ばそうとするよりも、得意な知覚を徹底的に伸ばす方が、それに引きずられるようにして他の知覚も開いて行きやすいもの**です。

2.8. 自由意思について

この物質世界においては多少例外的なところもあるものの、スピリチュアルな世界においては、

『**自由意思**』(エゴ的なわがままのことではなく、『ハイヤーセルフとロウアーセルフの総意としての意思決定』)というものが尊重されます。

ですから、例えば、「**エネルギーを使って他人をコントロールする**」といったことは出来ません。

世の中には、『**霊に取り憑かれておかしくなる人**』『**他人に人生を狂わされる人**』というのもいたりしますが、こういう人であっても、人生のどこかで、

『**誰でもいいから何とかして!**』と強く願った結果、自分の望んだ通りに、誰かに何とかしてもらっている』ということが多いものです。

(コラム) 病気や貧乏を望む人たち

多くの人たちが、口を揃えて、

「貧乏は嫌だ」

「病気は嫌だ」

などと言っていたりします。

しかし、潜在意識の奥深くを探ってみたり、その人のハイヤーセルフとコンタクトを取ってみたりすると、意外と、「そうした状況を自分で望んでいる」ということが多いのです。

というのも、こうした人たちは、様々な『問題』を抱えることによって、

「やりたくないことから目を背けられる」

「周囲に同情してもらえる」

などの『利益』を得ていることが多いものです。

そうした事情を知らずに、**ヒーラーが、お節介(エゴ)で相手の問題を奪おうとすると、相手から噛み付かれる**ということになります。

本人は怒りながら否定するかもしれませんが、スピリチュアル的に見れば、『問題を抱えている人』というのも、実は、「自分の意志で、自分で望んで問題を抱えているもの」なのです。

2.9. 自分の体験を優先させることの重要性

スピリチュアルな世界に関わるにあたって、

『**教えられた知識**』と『**自分の体験**』が食い違った際には、『**自分の体験を優先**』させる」

というのは、とても大事なことです。

当然、このテキストに書いてあることすら、

「テキストにはこう書かれていたけれど、自分がチャネリングで降ろした情報によるとこうだ！」

というのがあれば、

その時には、『自分で降ろした情報』を優先して採用するようにしてください。

スピリチュアルな世界はとても広大ですから、一人の人間が経験できる体験など、たかが知れているものです。

たとえチャネリングで受け取ったメッセージであっても『チャネラーのフィルター』を通して情報を降ろしているものですから、言わば『そのチャネラーの独断と偏見に塗れている情報』です。

どんなに優れた能力者であっても、所詮は人間なのですから、このフィルターから逃れることはできません。

にもかかわらず、**ある程度経験を積んだ『自称・専門家』の中には、『その人にとっての未知のケース』がたくさんあるにも関わらず、「私の経験上、それはこうに違いない！」と、断言してしまう人が少なくないようです。**

例えば、『「人間は人間にしか生まれ変わらない」と主張している人』がいたりしますが、過去生救出ワークや、過去生体験セッションを行っている時、『人間以外の過去生』は、ゴロゴロ出てくるもの」です。

このように、ある人が、「そんなことはあり得ない！」と言っても、自分の体験で、「そんなこと」が起こった場合は、『自分の体験』を優先していただければと思います。

● 自分の体験を客観視することについて

自分で降ろした情報を採用する際には、その情報がエゴや恐怖から来たものでないかしっかり判断し、常に自分を客観視する必要があります。

分かりやすい目安としては、

「**攻撃性が出てきたら、分離の方向に進んでいる**」

というのが挙げられますので、こうしたチェックポイントは『知識』として知っておくと良いでしょう。

2.10. 能力と人格は関係が無い

色んなところでお伝えしていますが、『能力』と『人格』というのは関係ありません。

世の中には、

「素晴らしい能力者だと聞いていたので、ずっと信じていたのに、実は酷い人だった！
あの能力もきっとインチキに違いない！」

といった話は枚挙に暇がありませんが、
そもそも、

『能力と人格は関係が無い』

のです。

ですから、

『能力的には凄いいけれど、人格的には幼稚園児レベルのスピリチュアルワーカー』

というもいれば、
逆に、

『人格的には素晴らしいけれど、能力的には残念なスピリチュアルワーカー』

というのも、たくさんいます。

もちろん、能力と人格は両立できるものですので、皆さんに目指してもらいたいのは、

『能力的に凄いい上に、人格的にも素晴らしいライトワーカー』

です。

● 『人格』と『繋がる先』の存在の関係について

どんなに優れた能力を扱う人であっても、必ずしもその人が正しく『光の存在』と繋がっているとは限りません。

能力者の中には、「動物霊や悪霊など、『ネガティブな存在』から能力を授かっている人」もいるものです。
(キツネに取り憑かれたことで、予知やヒーリングが出来るようになるという話もあります)

ネガティブな存在と繋がって能力を発揮している人の中には、平気で人を傷つけるような発言をする人がいます。

その人の『人格』と『繋がる先』の存在も、必ずしも一致するわけではありませんが、
自分勝手にひどいことを平気で言ってしまうような人は、『闇の存在と同調しやすい要素』を多く持っているとは言えるでしょう。

2.11. スピリチュアルな世界における技術革新

スピリチュアルの世界でも、日進月歩で技術が進化したり、新しいエネルギーが降りてきたりしています。

その結果として、

「昔はヒーリングに1時間かかっていたのが、今は5分で済む」

「昔は除霊に何年もかかっていたのに、今は浄霊が1分で出来る」

と、いったことが起こっています。

見えない世界なだけに、未だに古いツール（道具）を使っている霊能者・ライトワーカーもたくさんいますし、人によっては「そんなに楽をしたら、墮落しないだろうか」などと思ったりもするようですが・・・

例えば、現代で、「東京から北海道に行くのに、馬に乗っていったけど、時間がかかって大変だったよ～」などと言っている人がいたとしたら、「それってどうなの!？」と思うことでしょう。

確かに、大昔は飛行機や電車がなかったので、そうした手段が最適解だったのかもしれませんが、現代にはもっと便利な乗り物がたくさんあるので、これらを使わない手はありません。

エネルギーは所詮『道具』であって、スピリチュアルワークに取り組む『何かしらの目的』があるはずですから、その『目的』を達成するために、『効率的な道具』を使うのは当たり前です。

『手段』と『目的』を取り違えることなく、適時、時代の流れに乗って、『新しいツール』『新しいエネルギー』を活用していきましょう！

(コラム) レイキの新バージョン

有名なエネルギーワークの1つに、『レイキ (白井式西洋レイキ)』というものがあります。

この『レイキ』は、「電磁波に弱い」「金属に弱い」という特性があるため、レイキのヒーリングを受けたことがある方は、

「金属製のアクセサリーやパワーストーン、携帯電話を外してください」

などと指示されたことかと思えます。

(もしこれをしっかり伝えていないヒーラーがいたとしたら、そのヒーラーの実力は推して知るべし・・・です)

確かに、レイキが最初に降ろされた時代は、現代のように電磁波が飛び交っていなかったもので、それで問題無かったかもしれませんが、現代で使うにあたっては、少々時代にそぐわなくなっている面もあります。

しかしどうやら、チャネリング情報によると、高次の世界で『新レイキ』と呼ぶべきバージョンアップ版が開発されているようで、こちらでは、電磁波や金属をものともせずヒーリング・浄化を行うことができます。

3. エネルギーワークの基礎知識

本章では、『エネルギーワークに関する基礎的な知識』についてお伝えします。

3.1. ヒーリングと浄化について

- ヒーリングについて

『ヒーリング (healing)』とは、その名の通り『癒す』こと。

エネルギー（エネルギーワーク）を使って、

「痛みを和らげる」

「自己治癒力の活性化を促す」

といったことが可能です。

また、肉体的な痛みだけでなく、「精神的な痛み（トラウマや不安など）を癒す」ということも出来ます。

ただし、勘違い（というか、在り得ない期待）をしている人も多いですが、

『ヒーリングを身に付けたからといって、大怪我を一瞬で治せるものではない』

ですので、

『正当に評価して、必要に応じて西洋医学も併用するバランス感覚を身につけることがとても大事』

です。

- 浄化について

『浄化』とは、「ネガティブなエネルギーを払い、ポジティブなエネルギーで満たすこと」です。

イメージ的には、『モノに対するヒーリング ≒ 浄化』と、いった感じです。

(コラム) ヒーリングは医療行為ではない

ヒーリングは医療行為ではありませんから、病気治しをすることはできません。

そもそも日本では『医師法』というものがあり、「医療行為を行って良いのはお医者さんだけ」ですので、セッションのメニューを組み立てる時には、こうした点も注意する必要があります。

3.2. エーテルコードのカットとプロテクションについて

● エーテルコードのカットについて

『エーテルコード』とは、「自分と相手を繋ぐ、『意識の糸』のこと」です。

他者と関わりを持つと、(対面でなくとも、例えば意識を向けたりするだけでも) 見えない世界で、その相手に対して『エーテルコード』が繋がります。

セッションの際には、このコードを介して、癒しのエネルギーを送ったり、チャネリングで情報を読み取ったりすることになりますから、このコード自体は必要なものです。

しかし、用が済んだコードはしっかり切っておかないと、

「いつの間にか、相手のネガティブな感情を受け取っていた」

「いつの間にか、相手からエネルギーを吸われていた」

ということが起こり得ます。

(その逆も然り、です)

コードを切る方法としては、

「ガイドさん、私にとって不要なエーテルコードのカットをお願いします」

と宣言して、

その上で、

『コードを切ってもらうイメージ (糸が切れていくイメージ)』

をすれば OK です。

● プロテクションについて

『プロテクション』というのは、エネルギーや思念での攻撃を『防御』することです。

ただし、プロテクションは万能ではなく、強力なサイキックアタックを受けると破れてしまうことがありますし、生体エネルギーを伴ったサイキックアタックは、防ぎきれないことも多いようです。

プロテクションを張る方法としては、ハイヤーセルフやガイドに対して、

「私を守って！」

「プロテクションを張って！」

と、『依頼』する方法が、手軽でオススメです。

3.3. エネルギーの扱い方について

エネルギーを扱うためには、『エネルギーを扱おうとする意図』を設定することが必要です。

『意図の設定』というと大きさに聞こえるかもしれませんが、要は、

『「この人にヒーリングしよう」「これを浄化しよう」と思うだけで、エネルギーは流れていく』

ということです。

エネルギーワークによっては、『マントラ（呪文）』や『シンボル（印）』が存在するものもありますが、それらはいわば『補助輪のようなもの』であり、エネルギーの回路さえ開いていれば、必ずしもマントラやシンボルを使わなくてもエネルギーを扱うことは出来るものです。

逆に言えば、いくらマントラやシンボルを使っても、エネルギーの回路が開いていなければ、エネルギーワークの効果を発動させることはできません。

実際、

『エネルギーの回路が開いていないのに、エネルギーを扱おうと意図しても、エネルギーは流れてこない』
『アチューンメントを行った後に、再度、意図してもらおうと、エネルギーが流れるようになる』

ということを実験で確かめています。

● エネルギーを扱う際の注意点

エネルギーワークを行うにあたっては、

『高次の存在に委ねることが大事』

です。

多くの場合、ヒーリングなどを行う際には、ハイヤーセルフやガイドがエネルギーを流してくれるわけですが、

『人間の側が、顕在意識で「相手を癒そう！」と頑張れば頑張るほど、ヒーリングの効果は落ちる』
『私が癒さなきゃ！』という想いを込めれば込めるほど、エネルギー本来の働きを邪魔してしまう』

ということになります。

これは、

「専門家が作業をしているところに、シロウトがしゃしゃり出ること、現場を混乱させてしまう」

というのをイメージしていただければ、理解に難くないでしょう。

エネルギーを扱う上で最も大事な努力は、『委ねる努力』『邪魔しない努力』なのです。

3.4. エネルギーの使い分けについて

世の中には様々なエネルギーワークがあり、「どれを使ったらいいの??」と迷うこともあるかもしれません。

しかし、たいていのエネルギーは『ある程度の万能性』を持っているので、ほとんどの場合、気分でエネルギーを使い分けてしまって構いません。

これは、例えるなら、

「ハンバーグを食べても、パスタを食べても、カレーを食べても、どれでもお腹いっぱいになる」というのと似たような感覚です。

ただし、クライアントの状態によっては、特定のエネルギーを使った方が望ましいというケースもあります。

これも食事に例えるなら、

「最近、明らかに野菜不足だから、ステーキは避けて、野菜炒め定食にしておこう」
「ハンバーグを食べても、パスタを食べても、カレーを食べても、どれでもお腹いっぱいになる・・・
だけど、今日はどうしてもカレーを食べたい気分！」

といった感じでしょうか。

● 特定のエネルギーが求められるケース

『極めて専門的なワークを行う際』や、『クライアントが特別なこだわりを持っている場合』などには、

「特定のエネルギーしか受け入れられない」

というケースもあります。

これもまた食事に例えると、

「アレルギー持ちだから、専用の献立を組み立てる必要がある」
「〇〇さんは、シイタケが苦手・・・こっそり混ぜても絶対に気づいて除けられてしまう」

といった感じです。

また、エネルギーによっては、特定の用途に特化していたり、特定の分野が苦手だったりすることもあるので、そうしたことを知識として知っておくことは有用です。

どんなエネルギーを流して良いか分からない時は、

『ハイヤーセルフやガイドに、何のエネルギーを流したら良いか尋ねる（流すエネルギーを選んでもらう）』
ということを行うと良いでしょう。

3.5. エネルギーの『質』と『量』について

効果的なエネルギーワークを行うためには、『エネルギーの質』と、『エネルギーの量』がポイントになります。

ざっくり言ってしまうと、

$$\text{エネルギーワークの効果} = \text{エネルギーの質} \times \text{エネルギーの量}$$

と、いった感じです。

● エネルギーの質について

『繋がる先のエネルギー源泉』によって、「ヒーリングに向いているもの」と「向いていないもの」があり、エネルギーの強さも異なります。

また、同じ源泉からなるエネルギーを扱うにしても、

「ヒーラーのクリアリングが甘く、雑念を混ぜてしまっている」

「ヒーラーが、エゴに基づいたヒーリングをしようとしている」

「ヒーラーが受けたアチューンメント自体に問題がある」

などの要因により、

クライアントに流れていくエネルギーの質が、**本来の源泉のエネルギーレベルよりも『劣化』**してしまっているということもあります。

効果的なヒーリングを行うにあたっては、『ヒーリング向きエネルギーを流す』というのはもちろんのこと、

『質の高いエネルギーを流す』（質の高いアチューンメントを受け、扱う際にも不純物を混ぜない）

ということが大事です。

● エネルギーの量について

『一度に扱えるエネルギーの量』が少ない（エネルギー回路が細い）と、十分なエネルギーを流すのに多くの時間を必要とします。

エネルギー回路が太くなると、より少ない時間で、同じ効果のヒーリングを行うことが出来るようになります。

エネルギー回路の太さは、日々エネルギーを扱ったり、回路増強トレーニングを行ったりすることによって強化出来る他、アチューンメントによって拡張することも可能です。

3.6. エネルギーの体感について

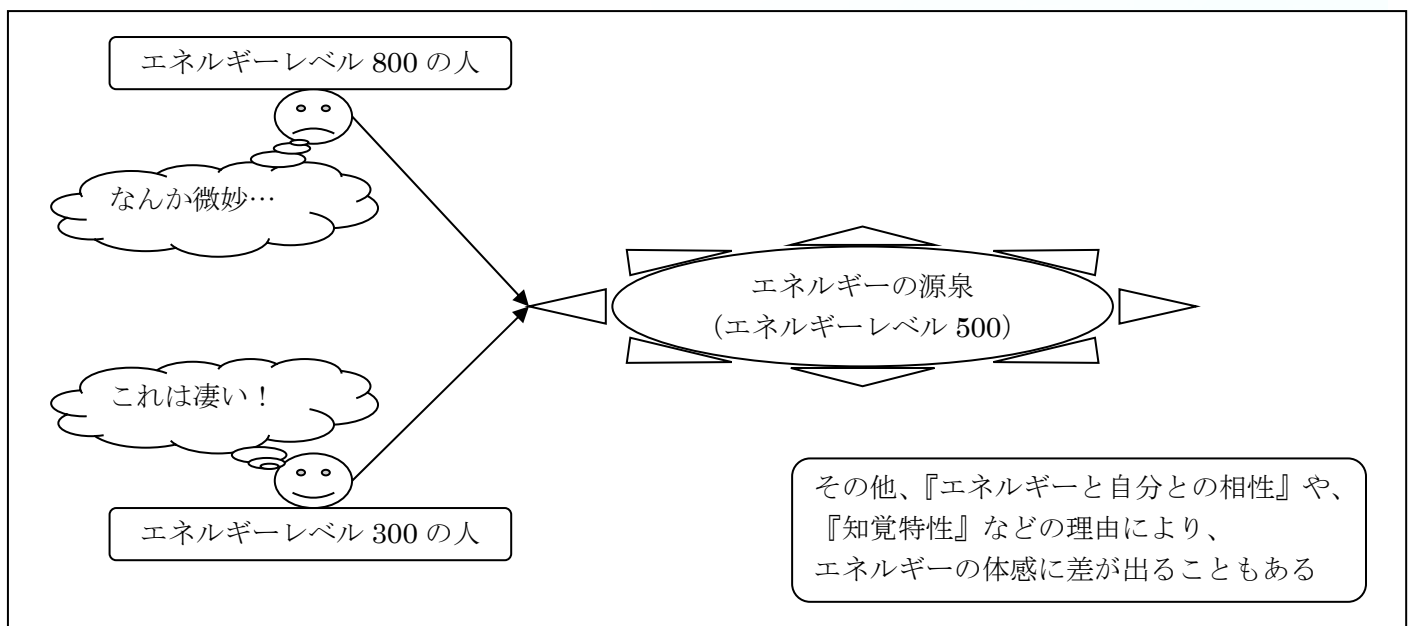
同じエネルギーを流しても、「人によって感じる強さが全然違う」ということがあります、これは、

『人間は、自分との差分で物事を知覚する（相対評価を行う）』

という性質によるものです。

例えば、『エネルギーの強さ』を、無理やり「数値化」したとして・・・

以下の図のように、同じエネルギーを受けても、「それが自分にとって強いのか、弱いのか」によって、感じ方が変わるため、人によって評価がバラバラになるのです。



ですから、他の人が「これは凄いエネルギーだね!」「この場所の波動は凄いね!」などと言っていたとして、自分はまるでそう感じなかったとしても、その時は『自分の感覚を優先すること』が大事です!

● エネルギーに対する「慣れ」

同じエネルギーを受け続けていると、だんだん体感が弱くなっていくことがあります、これは、

『自分のエネルギーが高まったので、以前に比べてエネルギーとの差が縮まった』

『エネルギーに慣れた』

という理由が考えられます。

要は、『お風呂に入った際に、最初は「熱い!」と感じても、だんだん慣れてくるのと同じような原理』なので、これに関して「自分の知覚が弱まったのでは!？」などと心配する必要はありません。

3.7. 好転反応について

ヒーリングを受けた後などに、たまに、熱を出したり、咳が出てきたり、体調不良になったりする人がいます。

これは、多くの場合、『**好転反応**』と言われるもので、

「それまで滞っていたエネルギーが流れるようになったことで、一時的にバランスを崩した」

「押さえ込んでいた毒を一気に吐き出している」

「潜在意識の恒常性維持機能（ホメオスタシス）が働いている」

といった感じですよ。

好転反応とは、「症状が改善する前の、一時的な反応」ですから、反応が出たことを心配する必要はありません。

せっかくこれまで押さえ込んでいた（でも確かに存在していた）毒が出て行っているわけですから、無理に症状を押さえ込もうとせずに、出るままに任せてしまうのが一番です。

出し切ってしまうと、それまで以上に身軽になることができます。

「ヒーリングを受けることによって好転反応が起こるかもしれない！」と理解した上で、

「大事な試験や打ち合せの直前に、強力なヒーリングやワークを行うのは避ける」

といったことに気を付ければ良いでしょう。

なお、エネルギーワークを行う側がみんな優秀とは限りませんから、中には、ヒーリングセッションを通して、癒されるどころかエネルギー体にダメージを受けてしまい、それにより体調を崩してしまうこともあります。

好転反応かどうかの見分け方は、

「適度なスポーツ後のような心地良い疲労感か、それとも、破壊的なダメージか」

というのを感じてみると良いでしょう。

● お水を飲むことについて

少しでも早く好転反応から脱するには、「**水を大量に飲むこと**」です。

この際には、お茶やコーヒー・紅茶やジュースではなく、**純粋な『水』**（出来れば、波動の高いミネラルウォーター）を飲むことが必要です。

身体の水を入れ替えることによって、エネルギーの代謝も良くなり、スムーズに流していくことができます。

(コラム) エネルギーの源泉が潰れることもある

他者ヒーリング・自己ヒーリング問わず、

「エネルギーの体感がない」

「ヒーリングの効果が感じられない」

といった場合、もちろんヒーラーやクライアントに原因がある可能性もありますが、それ以外にも、

『エネルギーそのものに問題があるケース』

というのも有り得ます。

例えば、

「エネルギーの源泉が潰れている（源泉の消滅、またはそれに準じる状態）」

「エネルギーの源泉が落ちている（天使の墮天など）」

「エネルギーの源泉と思い込んで、別の存在に繋がっている」

「エネルギー経路が潰れている」

「エネルギー経路にゴミが詰まっている」

などの要因により、ヒーリングの効果が無い（そもそもエネルギーが降りてこない）ということがあるのです。

特に、現在は、『過渡期』で、次々と新しいエネルギーが降りてくる一方で、これまで使えていたエネルギーがある日突然機能しなくなるということも頻繁に起こっています。

ですから、

「あの人に対しても、この人に対しても、この特定のエネルギーだけ実感がない」

という場合には、

そのエネルギーの源泉自体をチェックしてみてください。

もし、エネルギーの源泉が潰れていたとしたら、こちらから打つ手はありませんので、そのエネルギーに執着せずに、別のエネルギーを使うようにしましょう。

残念ながら、スピリチュアルワーカーの中には、アチューンメントを提供しているようなレベルの人であっても、「自分が扱うエネルギーの質に無頓着」という人も少なくありません。

スピリチュアルな世界では、目に見えないものを扱うだけに、『売り手にとって都合の良い言い訳』はいくらでも見つかりますが（例えば、「エネルギーが降りてこないのは、あなたの心構えの問題ですよ」など）

『自分の責任ではないのに、エネルギーが降りてこない』ということも有り得る

というのは、心の片隅で気に留めておくと良いでしょう。

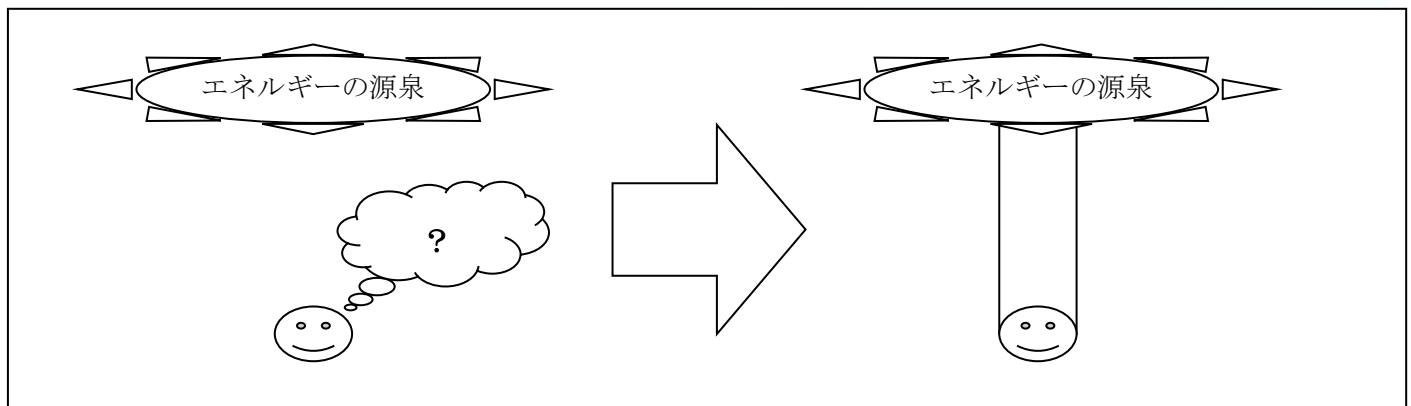
4. アチューンメントについて

本章では、『アチューンメント全般』についての説明を行います。

4.1. アチューンメントとは

エネルギーワークの世界においては、『アチューンメント (伝授)』という技術があります。

この『アチューンメント』を受けることによって、「エネルギーの回路」が開き、特別な修行をせずともヒーリングなどの能力が扱えるようになります。



アチューンメントそのものの実効性については、僕自身、色々実験してみましたが、確かに、

「アチューンメントを受けることで、それまで流すことができなかったエネルギーが、流せるようになる」

「アチューンメントを受けることで、それまで浄化できなかったものが、浄化できるようになる」

「アチューンメントを受けることで、それまで防げなかったサイキックアタックが防げるようになる」

などといったことが起こっています。

● アチューンメントで知覚が開くか？

アチューンメントをキッカケに、チャネリングが出来るようになったり、オーラが見えるようになったりするケースもありますが、こうしたケースは少数派で、

『**ついでに知覚が開いたらラッキー**』程度に思っておくのが良い

でしょう。

経験上、知覚を開くためには、アチューンメントよりも、

『適切なトレーニングを行う』『正しい知識を得る』といった方が効果的なことが多いようです。

一言で『アチューンメント』と言っても、その実態は様々で、例えば以下のようなことが起こっています。

エネルギーの源泉と繋げる	エネルギーワークにおける『アチューンメント』の多くは、「何かしらのエネルギーの源泉と、エネルギー回路を繋げる」ということを行います。 これにより、アチューンメントを受けた人は、新たに、ヒーリングなどのエネルギーを流すことが出来るようになります。
エネルギー回路を広げる	アチューンメントによっては、新たに回路を創るだけでなく、「既存のエネルギー回路の整備・拡張工事を行う」といったものもあります。 これにより、より短時間で大量のエネルギーを降ろすことが出来るようになったり、より効率良くエネルギーを降ろすことが出来るようになったりします。
知識・経験値を渡す	アチューンメントにより、(エネルギーレベルで)「知識を渡す」「経験値を渡す」「才能を付与する」といったことも出来るようです。 これにより、「これまで思いもよらなかったような発想が湧き出してくる」「これまで出来なかったことが出来るようになる」などということが起こったりします。
高次の存在に対する教育	アチューンメントによって、高次の存在に対して、エネルギー的な教材を渡したり、高次の世界の施設に招いて、研修を行ったりすることも可能です。 これにより、ハイヤーセルフレベルでパワーアップするということも起こります。

その他、ここに挙げた以外にも、人間の言葉では表現できないものを、便宜上、『アチューンメント』と呼んでいることもあります。

(コラム) アチューンメントを受けないとエネルギーが扱えないか？

「アチューンメントを受けないと、絶対にそのエネルギーが扱えないか？」という、そんなことはありません。

そもそも、『エネルギーワークの創始者は、誰かからアチューンメントを受けたのか？』ということを考えれば、「アチューンメントを受けないとエネルギーが扱えないというのは誤り」というのは明らかです。

とはいえ、自力でエネルギーの源泉に辿り着こうとした場合、どれくらいの時間がかかるかは分かりません。

「素人が手作業で道路を創るのと、プロが重機を使って道路を創るの、どちらが早いか？」と聞かれれば、それはもちろん、『プロに依頼した方が、早くて質が良いものが出る』でしょう。

アチューンメントを受けるというのは、要は、『「時間」と「品質」を、お金を出して買う』ということです。

セールストークに踊らされることなく、かつ、アチューンメントを過小評価するでもなく、自分の目的と条件に合わせて、上手にアチューンメントを活用していきましょう。

4.2. アチューンメントの質について

手当たり次第にアチューンメントを受ければいいのかというと、もちろんそんなことはありません。

例えば、同じ『レイキ (臼井式西洋レイキ)』を謳っていても、その実態は様々で、

「本当はレイキではないものが、レイキとして流通しているケース」

「劣化版レイキをアチューンメントしているケース」

などもあります。

ここで厄介なのは、

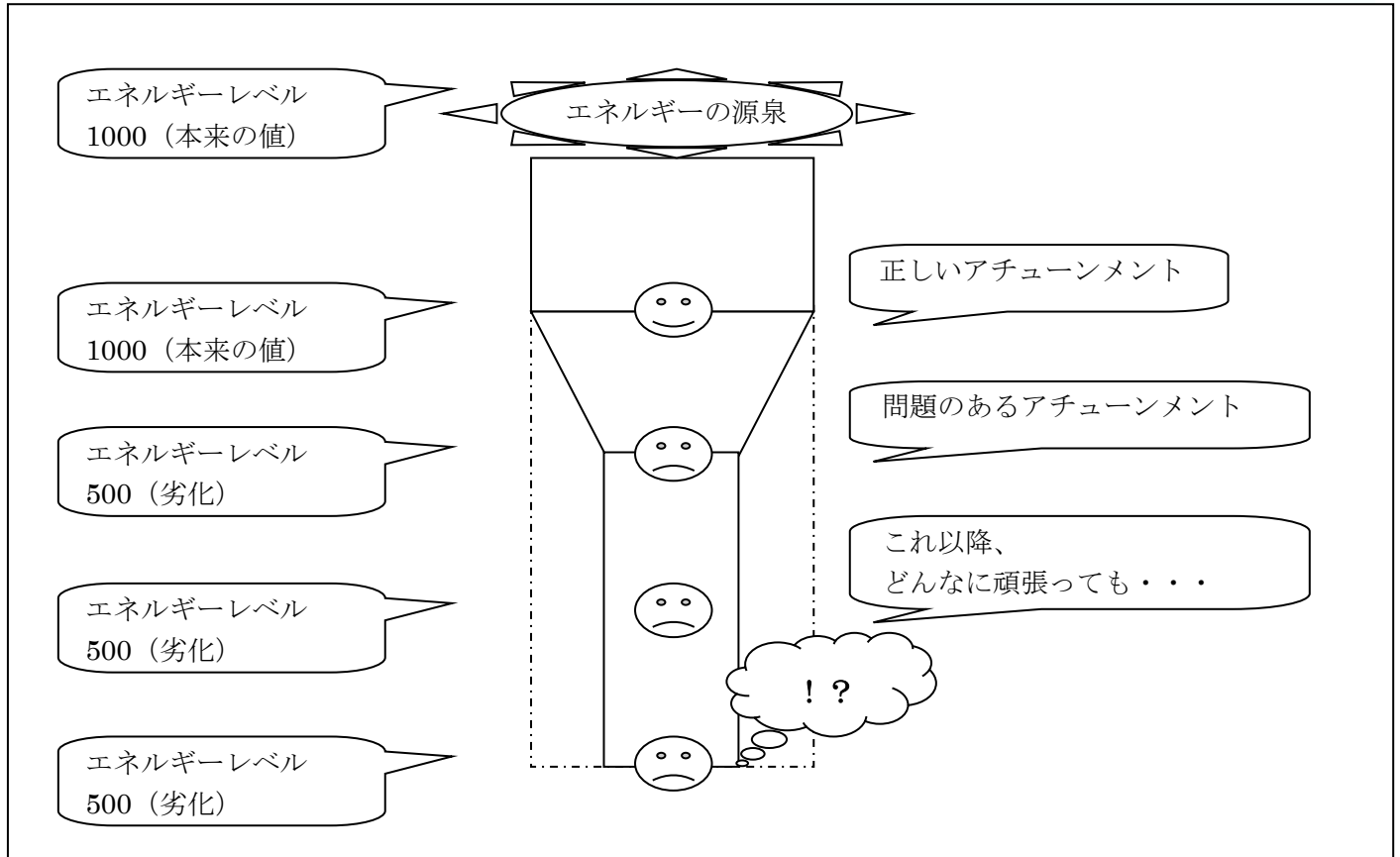
『エネルギーの質』は、アチューンメントを受けた時点で決まってしまう」

『エネルギーの質』を検証するのは難易度が高い」

「エネルギーを扱っている本人が、自分が扱っている『エネルギーの質』を理解していないことが多い」

ということです。

しかも、以下の図のように、自分にアチューンメントをしてくれた人自体は素晴らしくても、それ以前の人が劣化版のエネルギーを扱っていた場合には、質の低いエネルギーをアチューンメントされてしまうということになります。



● 『エネルギーの質』から見たアチューンメントの質

『エネルギーの質に問題のあるアチューンメント』を受けてしまった場合、その後、どれだけ熱心にエネルギーワークの練習を行っても、そのエネルギーの質が向上することはありません。

これは、

「誤ったフォームでいくら練習を積み重ねても、正しいフォームにはたどり着けない」

というのをイメージしてもらえると分かりやすいでしょう。

エネルギーの質を改善させるためには、他の（正しく回路が開いている）人からアチューンメントを受け直すか、あるいは、自分でエネルギーの源泉と繋がり直す（セルフアチューンメントする）必要があります。

● 『エネルギー回路の太さ（エネルギーの量）』から見たアチューンメントの質

誰からアチューンメントを受けるかによって、『エネルギー回路の太さ』の開き方も、まるで違ってきます。

エネルギー回路の太さ（一度に扱えるエネルギーの量）に関しては、トレーニングを積み重ねていくことで増強していくことができますが、アチューンメントする側の力量次第では、

「10年間毎日コツコツエネルギーワークを実践してきた人よりも、アチューンメントを受けたばかりの人の方が、より回路が大きく開いている」

ということも有り得ます。

● 『付随するエネルギー』から見たアチューンメントの質

アチューンメントする側の『クリアリング（「浄化」「心構え」）』が甘いと、

「アチューンメントの際に、アチューンメントする側のネガティブエネルギーまで一緒に受け取ってしまう」

ということがあります。

ネガティブエネルギーを埋め込まれると、体調不良が起こったり、運気が低下したりすることになりかねません。

以上の理由により、『誰からアチューンメントを受けるかというのは、とても大事なこと』です。

世の中には、無料でエネルギーのアチューンメントを行っている人もいますが

（そしてもちろん、素晴らしい無料アチューンメントを提供している人もたくさんいるのですが）、無料だからといって、安易に飛びつかないようにしましょう。

4.3. ライトワーカーの選び方について

スピリチュアル業界には、純粋な気持ちで「世の中に光を広げよう」と活動しているライトワーカーがいる一方、中には、残念ながら、

- 『客寄せのために、エゴに塗れたエネルギーを扱っている人』
- 『実験台として中途半端なものをアチューンメントしている人』

というのも、少なからずいたりします。

また、世の中には、

- 『スピリチュアルを、単に、金儲けの手段として扱っている人』
- 『お金や性のブロックを抱えているライトワーカー』
- 『物質世界におけるバランス感覚を欠いたライトワーカー』
- 『動物霊や悪霊など、ネガティブな存在から能力を授かっている人』
- 『能力が開いたばかりで、知識も経験も足りないライトワーカー』

という人も存在するのです。

ですから、アチューンメントを受けようと思ったら、価格や知名度、付き合い（情や惰性）で選ばずに、

- 「自分の直感に従って、『ピンと来た人』からアチューンメントを受ける」
- 「『本人が幸せそうなライトワーカー』からアチューンメントを受ける」

というのを、強くオススメします。

少なくとも、「**否定的・攻撃的な言動が目立つ人は避ける**」というのは気を付けた方が良いでしょう。

● 初心者にとっての選び方のポイント

完全にスピリチュアル初心者で、「誰からアチューンメントを受けたら良いか見当も付かない」という場合、

- 『長期間に渡って、安定して情報を発信し続けているライトワーカー』
- 『勉強会や練習会をマメに企画しているライトワーカー』
- 『ビジネス等での実績があり、まともなコミュニケーションが成立する（地に足の着いた）ライトワーカー』

を、選ぶと良いでしょう。

スピリチュアル業界に限ったことではないのですが、『業界から去っていく人』というのも少なからずいるので、「アチューンメントを受けた直後に、師匠に当たる人が活動停止してしまった」ということにでもなれば、右も左もわからないまま放り出されてしまうことになりかねません。

ですから、ある程度慣れるまでは、『アチューンメント後のサポート体制』『継続性』というのも含めて、ライトワーカーを選ぶようにすると良いでしょう。

4.4. エネルギーの選び方について

エネルギーワークの世界には、多種多様なエネルギー（エネルギーワーク）が存在しますから、アチューンメントを受けるにあたって、「何のアチューンメントを受けたら良いんだろう・・・」と、途方に暮れた人もいることと思います。

『どのアチューンメントを受けたら良いのか』『何のエネルギーが向いているのか』というのは、

「自分は何を求めているのか？」

「何のためにエネルギーワークを行いたいのか？」

というのによって変わってくるため、一概には言えませんが・・・。

基本的には、まずはアチューンメントを受ける前に、自分の直感に従って「ピン！」と来たものピックアップし、お試しでヒーリングを受けてみてから判断すると良いでしょう。

もちろん、チャネリングを身に付けていれば、自分のガイドに相談することも出来ますし、スピリチュアル仲間や、信頼できるライトワーカーに相談に乗ってもらうのも良い方法です。

ただし、あくまでもそれらは『参考』に留め、最終的には自分で選択・決断することが必要です。

● エネルギーワークの知名度について

スピリチュアル業界では、有名なエネルギーワークがいくつかありますが、それらは単に、歴史的な事情や、マーケティングによって「知名度が高い」ということに過ぎません。

有名なエネルギーワークが必ずしも質が高いとは限りませんし、自分の目的に合致しているとも限りません。

知名度だけで選ぶのではなく、『**自分の感覚で選ぶ**』というのを心掛けましょう。

● エネルギーコレクターについて

世の中には、資格習得マニアのように、何十ものエネルギーを集めている人もいます。

確かに、『エネルギーによる性質の違い』というものはあるものの、どのエネルギーもある程度の万能性を持っているわけですから、**現実問題として、それほど多数のアチューンメントを受ける必要性はありません。**

もちろん、エネルギーのコレクションをしたいというのであれば、それはそれで構いませんが・・・

「自分は何のためにアチューンメントを受けるのか」というのは、一度冷静に考えてみることをオススメします。

4.5. アチューンメントの受け取り方

アチューンメントを受け取る際には、受け取り側は、

「〇〇からの××アチューンメントを受け取ります」

(例：「魔法使い A-Ki☆. からの、セルフエナジーコネクション・アチューンメントを受け取ります」)

と、意図すれば OK です。

この際には、特に声に出す必要は無く、『意図』することが大事です。

もし、多少の言い間違いがあったとしても、高次の存在が良きに計らってくれますから、安心してください。

例えば、「A-Ki (あき) の読み方が分かりません」といった場合でも、ちゃんと効果が発動します。

● アチューンメントの所要時間

アチューンメントにかかる時間は、『能力者の力量』によって大きく異なり、エネルギーワークに慣れるに従い、所要時間は短くなります。

基本的には、物質世界における仕事の成果と全く一緒で、

「仕事ができる人は、質の高いものを早く出してくる」

「仕事が出来ない人は、時間がかかった割には、成果物の品質も低い」

と、いった感じです。

もちろん、アチューンメントする内容（扱うエネルギー）によっても必要な時間は変わりますが、例えばレイキであれば、熟練すれば、数秒でアチューンメントを完了させることが出来るようになります。

● アチューンメント後の過ごし方

アチューンメント後は、意識が上がって、ボーっとしたりフワフワした感じになったりすることもあるので、精密作業は出来るだけ避け、ゆっくり休むようにしましょう。

また、

『お水』（お茶やコーヒーではなく、ミネラルウォーター等の純粋な水）

をたくさん飲んで、

エネルギーの代謝を良くすることが望ましいものです。

(コラム) アチューンメントを受けた方が良い人、受けてはいけない人

「これからエネルギーワークを始めたい」「ヒーリングを提供していきたい」といった場合、予算や条件が合えば（そしてピンと来るライトワーカーが見つければ）、『アチューンメント』はとても有効な手段ですから、積極的に利用を検討すると良いでしょう。

中には、「楽しんで能力を得るなんて～・・・」と躊躇する人もいますが、例えば、

「プロの料理人だって、材料や調理器具の全てを自分で作っているわけではない」
ですよ。

それと同じように、ヒーリングを行うのが目的であれば、エネルギーはその『手段』『道具』であって、これらを得るために苦行をしたり、人生を賭けたりする必要は無いのです。

(「苦行大好き！」というのであれば、止めはしませんが・・・)

もちろん、プロとして活躍するためには、単にアチューンメントを受けるだけでは不十分で、『物理次元での相応の努力』が必要ですから、エネルギーの回路を開くこと自体に労力をかけるヒマがあったら、

『コミュニケーション能力』
『ビジネススキル』

などを身に付けるために努力する方が、よっぽど大切です。

なお、エネルギーの回路を開くこと自体はカンタンで、受け手が初心者かどうかなどは一切関係ありません。

ただし、「**然るべき努力を放棄して、アチューンメントに逃げようとしている場合**」などには、**ハイヤーセルフやガイドから『NG (アチューンメント不可)』**を出されることもあります。

実際、「アチューンメントを受けたら、自分の人生が変わるのではないか？」と思っているうちは、人生は変わりようがありません。

アチューンメントは、あくまでも『手段』であって、アチューンメントを受ける前には、「自分は何のためにアチューンメントを受けたいのか？」というのを考えてみる必要があります。

特に、【セルフエナジーコネクション・アチューンメント】などは、

「人生を変えたからこそ（その決意をしたからこそ）、アチューンメントを受ける資格が出来る」という性質のもので、心構えには十分気を付けて臨みましょう。

5. 魔法使い A-Ki☆。が提供しているアチューンメントについて

【F1144・魔法使い養成学校】では、現在、以下のアチューンメントを提供しています。

<http://f1144.mahou-gakkou.net/attunement/>

名称	金額	条件
スピリチュアル基本セット	50,000 円	【魔法使い養成講座】受講 (エネルギーワークの部まで修了)
セルフエナジーコネクション・アチューンメント	300,000 円	
ハイヤーコネクション・アチューンメント	150,000 円	
ガイドに対する『指導の仕方』指導	150,000 円	【チャネリングコース】5 か月目修了
高次の世界への誘導	100,000 円	

(※2013 年 11 月現在)

※【セルフエナジーコネクション・アチューンメント】には、【スピリチュアル基本セット】の内容が含まれていますので、【スピリチュアル基本セット】を受けられた方は、差額で、【セルフエナジーコネクション】を受けることができます。

● 【魔法使い養成学校】で提供しているアチューンメントの特徴

【F1144・魔法使い養成学校】で提供しているアチューンメントは、便宜上『アチューンメント』という呼び方をしているものの、その実態は、

『ハイヤーセルフやガイドが、高次の世界に存在する「魔法学校」へ入学する』

というイメージに近いものです。

どのアチューンメントも、『ハイヤーセルフやガイドに対する教育』というのが主な内容で、特定のエネルギーの源泉と繋げるものではないので、エネルギーを扱うにあたっての『マントラ』や『シンボル』といったものは存在しません。

また、同じ理由により、『他者への再アチューンメント』という概念も存在しません。

● オススメのアチューンメント

まずは、【セルフエナジーコネクション・アチューンメント】を中心に、必要に応じてその他のアチューンメントを併せて検討されることをオススメします。

ただし、ハイヤーセルフやガイドの意向によっては、それ以外のパターンを希望されるケースもありますので、

「自分でチャネリングの技術を習得した上で、ガイドやハイヤーセルフと相談する」

というのが望ましいでしょう。

● 予約からアチューンメントまでの流れ

お申し込みは、【サイトのフォーム (<http://f1144.mahou-gakkou.net/attunement/>)】よりご連絡ください。

ハイヤーセルフとガイドに確認の上、折り返し、アチューンメントの可否をお伝えします。

アチューンメントのスタイルとしては、遠隔や、個人セッション形式も可能ではありますが、出来るだけ、

『アチューンメントを受けた方向けのエネルギーワーク練習会』を同時開催し、アチューンメント後すぐに複数人で練習するという形

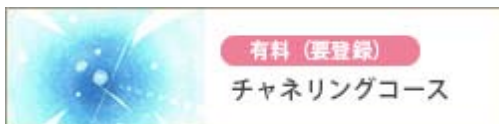
を推奨しています。

※初回は、アチューンメントを受けられる際のご希望日時に併せて、練習会を開催することが出来ます。

※初回の練習会参加費は、アチューンメント費用の中に含まれます。

● チャネリングコース・ブロック解除ワークの受講について

アチューンメントを受けられる方は、併せて、【チャネリングコース】【ブロック解除ワーク】を受講されることを強くオススメします。



<http://f1144.mahou-gakkou.net/mailseminar/channeling/>



<http://f1144.mahou-gakkou.net/liberation/>

『チャネリング』を習得することで、

「ヒーリングを行う前に、『その相手にヒーリングを行っても大丈夫かどうか』を確認できる」

「ヒーリングや浄化が失敗した際に、『なぜ上手く行かなかったのか』を確認できる」

「上手く行かなかった際に、『どのように対応すれば良いのか』のアドバイスをその場で得ることができる」

ということになります。

また、『ブロック解除ワーク』によって「スピリチュアル能力に対するブロック」を手放すことで、不適切なブレーキが外れ、各種能力を発揮しやすくなります。

5.1. スピリチュアル基本セットのアチューンメントについて

● アチューンメントの概要

【スピリチュアル基本セット】のアチューンメントでは、

- ◆ ヒーリング
- ◆ 浄化
- ◆ 浄霊
- ◆ エーテルコードのカット
- ◆ プロテクション

といった、

『スピリチュアルな世界で有用な基本的スキル』

をまとめてアチューンメントし、

「意図だけでヒーリング」（※エネルギーの内容は、ヒーリング毎に、ハイヤーセルフ任せとなります）

「意図だけで浄化」

「意図だけで浄霊」（※浄霊に関する注意点については、本書で後述します）

「意図だけでエーテルコードのカット」

「意図だけでプロテクション」

などを行うことが出来るようにするものです。

また、ハイヤーセルフやガイドに対して、『より効果的なスピリチュアルワークのやり方』をお伝えしますので、スピリチュアルワークの質そのものが向上します（次ページ参照）

● エネルギーの扱い方

各種エネルギーの扱い方としては、

「○○をヒーリングしよう」

「自己ヒーリングしよう」

「○○を浄化しよう」

「不要なエーテルコードをカットしよう」

「プロテクションを張ろう」

などと『意図』することで、（声に出しても、出さなくても）効果が発動します。

エネルギーを扱うにあたっての最大のポイントは、

『意図して、委ねる（高次の存在の邪魔をしない）』

ということに尽きますので、

この点はくれぐれも心掛けていただければと思います。

5.2. セルフエナジーコネクション・アチューンメントについて

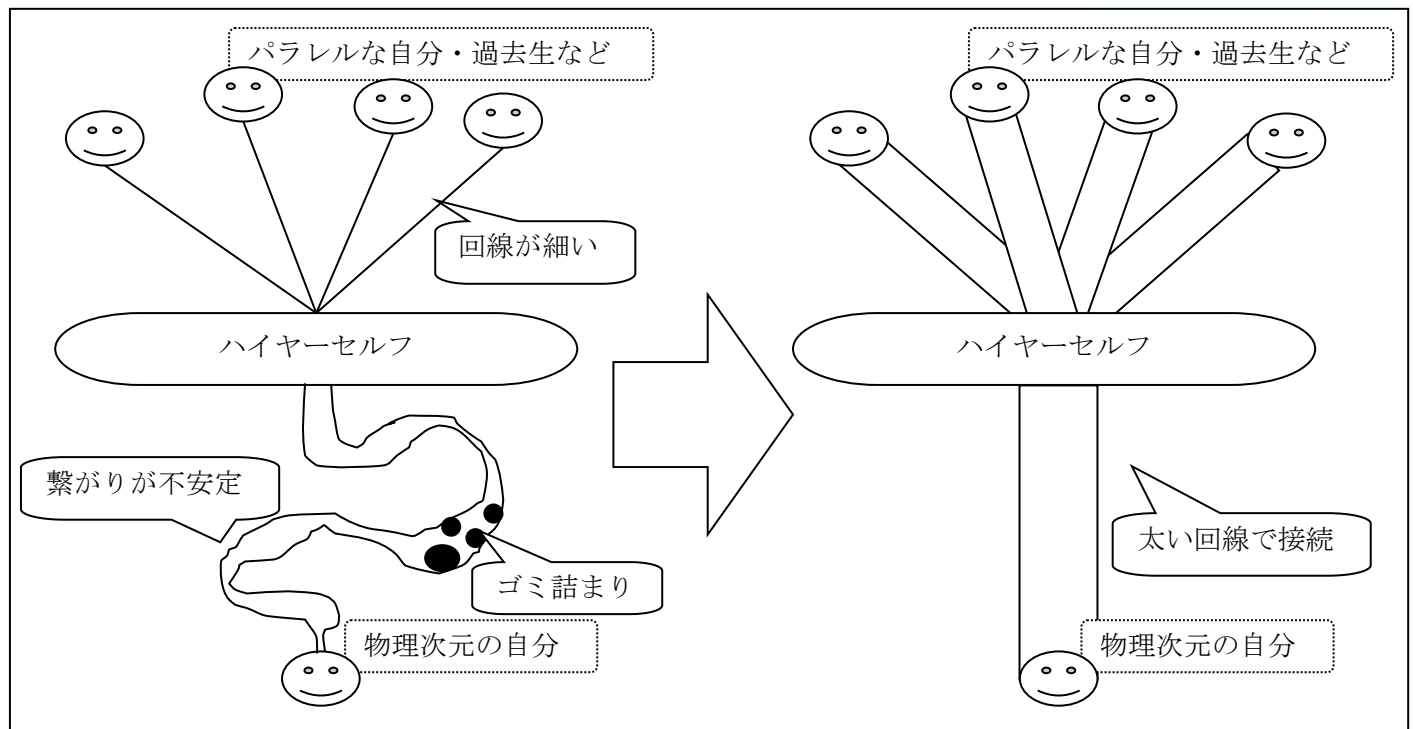
● アチューンメントの概要

人間とハイヤーセルフの間の『エネルギー的な通路』は、実は、必ずしも綺麗に繋がっているとは限らず、歪んでいたり、エネルギー的なゴミが詰まっていたりすることもあるものです。

【セルフエナジーコネクション・アチューンメント】では、ハイヤーセルフとの間にある繋がりを太くするとともに、エネルギー的な詰まりを可能な限り除去し、

- 『高次元にいる（現世の制約を超えた）自分自身』
- 『過去生や未来生、パラレルワールドにいる、自分自身』
- 『数十年後、今より成長し、パワーアップした自分自身』

などとの間のエネルギーラインを強化します。



それに加えて、

- 『ハイヤーセルフやガイドに対して、各種ノウハウの詰まった、エネルギー的なマニュアルを提供する』
- 『フォローアップとして、高次の世界で、ハイヤーセルフに対する研修・講座を提供する』

ということも行いますので、

随時、アップデートされた内容を、ハイヤーセルフレベルで受け取ることが出来ます。

なお、フォローアップへの参加は、それぞれのハイヤーセルフ・ガイドに任されていて、必須ではありません。

出席率は、基本的には人間側とほぼ同じで、**ブログなどをマメに見ている人ほど、上も参加している**ようです。

● アチューンメントのその後

【セルフエナジーコネクション・アチューンメント】は、スピリチュアル基本セットの内容を含んでいますので、アチューンメント後は、各種スピリチュアルワークがパワーアップするとともに、『意図』だけで、様々なエネルギーが扱えるようになります。

また、『ハイヤーセルフから人間に対して干渉しやすくなる環境』が整うことにより、

- 「ハイヤーセルフの側から、人生の目的や使命に応じた道に強く誘導してもらう」
- 「過去生で経験した知識やスキルを、現世に引っ張って来やすくなる」
- 「必要に応じて、効率良くハイヤーセルフから情報や能力を流し込んでもらう」

と、いったことが可能になります。

さらに、ハイヤーセルフが、『高次元での学び』を受けることにより、

- 「ハイヤーセルフが、『セルフアチューンメント』の能力を身に付ける」
- 「ハイヤーセルフが、『時間が経っても抜けないエネルギーグッズの創り方』を身に付ける」
- 「ハイヤーセルフの扱う、あらゆるエネルギーワークが継続的に強化される」

などといったことが起こります。

ただし、アチューンメントで起こるのは、あくまでも「環境を整えるところまで」「教育の提供」ですので、パワーアップしたハイヤーセルフが、具体的にその後、どのような選択（人生設計）をするかに関しては、ハイヤーセルフの自由意思に任されています。

例えば、ハイヤーセルフの中には、

- 「まだもう少し、物質世界特有の『制限』を楽しみたい！」

と、考える存在も少なくないので、

自分の人生設計をどのように考えているのかに関しては、チャネリングを習得の上、ハイヤーセルフと相談してみるのが望ましいでしょう。

● エネルギーの扱い方

エネルギーの扱い方としては、ハイヤーセルフに対して、

- 「〇〇のエネルギーを、私にアチューンメントしてください」
- 「〇〇をヒーリングしてください」
- 「時間が経っても抜けないような形で、〇〇にエネルギーを入れてください」

などと意図すればOKです。

- 「物理次元の学び」を併せて行う必要性

アチューンメントで行うことが出来るのは、あくまでも、

- 『エネルギーの回路を開くところまで』
- 『エネルギーレベルでノウハウを渡すところまで』
- 『才能を付与するところまで』

です。

これは、車に例えるなら、『業者に依頼できるのは、道路整備と車を手配するところまで』というのと同じで、目的地まで車で向かおうと思ったら、『運転しようとする意図』と、『運転技術』が必要です。

別の例で言うと、『いくら天才的なピアノの才能を持っていても、練習をしなければコンクールで優勝できない』というのと同じように、『目標を達成するための物理的な努力』というのは必要なのです。

もし、『ヒーラー』になりたいければ、このアチューンメントで「ヒーリングエネルギーを自在に降ろす能力」は身に付きますが、セッションを行う上での、『カウンセリングの技法』や、『集客の技術』、『コミュニケーションスキル』や『心理学』などは、別途学んで習得する必要があります。

もし、『クリエイター』になりたいければ、このアチューンメントで「インスピレーションを降ろす能力」は開花しやすくなりますが、小説家であれば『文章術』、画家であれば『狙った線を描く力』などは、別途トレーニングで身に付ける必要があります。

もちろん、これらの点に関しても、

- 『過去生』や『パラレルな自分』から経験値を引っ張ってくる事が出来るので、
何のサポートも無しに努力するのに比べて、圧倒的に少ない練習量で、より高いレベルに到達できる」

といったことは出来るでしょう。

さらに、

- 「ハイヤーセルフのレベルで、より適切な教材を選択できるようになる」
(より効率的なトレーニング教材を引き寄せられるようになる)

ということも起こるでしょう。

ですが、これらはあくまでも、『効率の問題』で、「他の人が数十年かかって辿り着けるレベルに、1年足らずで到達できる」という程度のことであり、全く努力しなくて良いというわけではありません。

ハイヤーセルフの選択次第では、場合によっては、

- 「より短期間で高度な技術を習得するために、
これまで以上に強烈な『物質世界的なトレーニングの機会』を、自分で引き寄せる可能性もある」

というのは、予めご承知ください。

● セルフアチューンメントについて

【セルフエナジーコネクション・アチューンメント】を受けることで、(ハイヤーセルフが学習することにより) オマケ的に、『エネルギーのセルフアチューンメント (自己伝授)』が出来るようになります。

これにより、他者からアチューンメントを受けずとも、『新たなエネルギーを自分で降ろす』といったことが出来るようになります。

※ただし、ハイヤーセルフが「このエネルギーは取り込まない方が良い」と判断した場合など、セルフアチューンメントが成立しないということもありますから、事前に、チャネリングで可否を確認すると良いでしょう。

なお、質疑応答の際に、「セルフアチューンメントが出来るようになったら、他者のアチューンメントを受ける必要は一切無くなりますか？」というのを聞かれることがありますが、

「セルフアチューンメントで行うことが出来るのは、あくまでもエネルギーを降ろすところまで」です。

例えば、世の中には、『アチューンメントとセットで、物理的なマニュアルを提供する人』もいますので、もし、そうした『エネルギー以外のもの (知識・経験・物)』が欲しければ、それらを目当てに、アチューンメントを受けに行くのも良いでしょう。

● 他者へのアチューンメントについて

【セルフエナジーコネクション・アチューンメント】には、再アチューンメントという概念こそ無いものの、ハイヤーセルフレベルで十分に学びを深めることで、

『ノウハウ単位で (ヒーリングはもちろん、セルフアチューンメント法なども)、他者に伝授』
『各種エネルギーワークを、他者へとアチューンメント』

といったことが (ハイヤーセルフが適切だと判断した場合) 可能になります。

これに関しても、実験で、

「レイキ未経験者が、【セルフエナジーコネクション・アチューンメント】を受けることにより、他者に対して、臼井式西洋レイキを始めとした、様々なエネルギーをアチューンメント可能になる」

ということが確認されています。

「何をどこまで伝授出来るのか」に関しては、「ハイヤーセルフの力量次第」となりますので、『チャネリング』で可否を聞き出した上、実際にアチューンメントを行い検証するのが望ましいでしょう。

また、先にお伝えした通り、「アチューンメントを受けたとしても、『知識』は別途学ぶ必要がある」ので、

『アチューンメントを行う際には、相手に対して、ある種の (スピリチュアル的な) 説明責任が発生する』

というのを理解した上で、他者へのアチューンメントを行っていただければと思います。

5.3. ハイヤーコネクション・アチューンメントについて

● アチューンメントの概要

ハイヤーセルフやガイド、守護霊といった存在たちは、自分の力だけで物事を調整・解決していくのではなく、必要に応じて、他の高次の存在たちと協力したりして、様々な調整を行っています。

この物質世界において、『豊かな人脈を持つ人』が

「他者の力を上手く借りて、一人ではとても成し遂げられないことを楽々と実現させてしまう」

ということは多々ありますが、
これは実は、高次の世界でも同様です。

しかし、これまた物質世界同様、『人脈創りが上手な高次の存在』『おねだり上手な高次の存在』もいれば、『他者との交流が苦手な高次の存在』というのもありたりするものです。

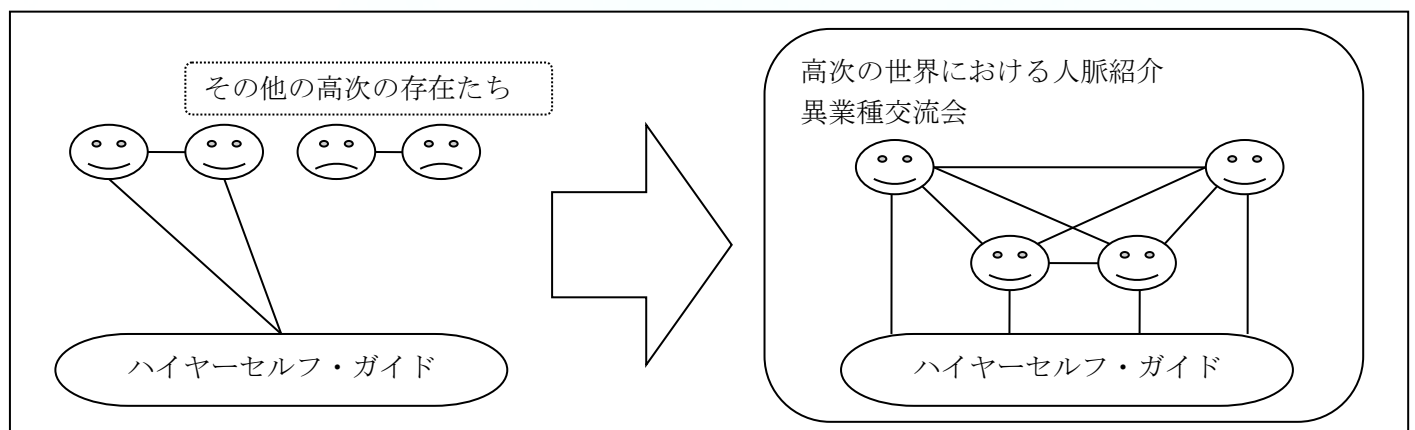
そこで、この【ハイヤーコネクション・アチューンメント】では、

『高次の世界における人脈紹介』
『異業種交流会』

といったことを行い、

『ハイヤーセルフやガイドの交友関係が広がるお手伝い』

をします。



『高次の存在の人脈』を広げることで、

「ハイヤーセルフやガイドが、より大規模な調整を行いやすくなる」

「ガイドのスカウトを行う際などに、より優秀な人材を連れてくることができるようになる」

ということになります。

● アチューンメントのその後

アチューンメント後は、特にこちらからオーダーしなくても、

「変化がさらに加速する」

「シンクロがさらに起きやすくなる」

「付き合う人の幅が広がってくる」

といったことが起こるでしょう。

もし、「どうしても自分からアクションを起こしたい！」という場合には、

「〇〇の分野のことをサポートしてくれるガイドを呼んできてください！」

と、ハイヤーセルフに伝えてみてください。

ガイドの力量も様々で、初心者ガイドからベテランガイドまでいるのですが、高次の人脈が広がることで、より優秀なガイドを呼ぶことが出来るようになります。

また、すでにチャネリングを身に付けて、ガイドと十分なコミュニケーションが取れるのであれば、

「他者に対して、『ガイドのスカウト（新ガイドの付与）』を提供する」

などといったことを、

自分のセッションとして提供してみるのも良いでしょう。

(コラム) 高次の存在間の人間関係

高次の存在間の『人間(?) 関係』は、物質世界のそれとほとんど同じで、仲の良い存在同士もいれば、仲違いをしているグループもあり、他の存在に嫉妬している存在がいたりすることもあります。

同じ人をサポートしているガイドチーム内ですら、意見の相違があることも珍しくないようです。

高次の世界では、「波動が違いすぎるとお互いを知覚することすら出来なくなる」といったこともあるようですが、そこまでいかなくとも、『自分の魂のルーツ』との関わりが薄かったりすると、

『(ハイヤーセルフ的に) なんとなく頼みにくい存在』『縁の薄い存在』がいたりすることもあるようです。

例えば、仏教圏での転生ばかり繰り返していた人は、キリスト教系の存在と縁が薄かったりしますし、その逆も然りで、物質世界と同様に、「自分と似たようなグループだけで固まっていることも多いもの」です。

もちろん、現在の交友関係で満足していて、それで支障が無いのであれば、無理に人脈を広げる必要もありませんが、もし、「もっと色々な種類の人と関わりたい！」というのであれば、何らかの形で、ハイヤーセルフのレベルで人脈を広げるのも選択肢の1つです。

5.4. ガイドに対する『指導の仕方』指導

● アチューンメントの概要

チャネリングの練習を始めると、人によっては、「なかなかメッセージを受け取れない」と感じるようですが、どうやら、メッセージを上手く受け取ることが出来ないのは、必ずしも、人間側だけの問題ではないようです。

『ガイド』と一口に言っても様々で、「熟練したガイド」もいれば、「ガイド1年生」もいますし、地球歴が長いガイドもいれば、つい最近地球にやってきたという存在もいます。

人間経験の有無や、現代日本の文化に関する理解度も、ガイドによって様々です。

もし、幸運にも『人間に理解があって、かつ、人間をガイドし慣れている存在』がガイドに付いている場合には、『人間にとって分かりやすい形のメッセージ』を送ってくれたりすることでしょう。

しかし、一方で、『人間に対する知識が浅く、人間をガイドし慣れていない存在』がガイドとして付いている場合、同じようにチャネリング練習に取り組んでも、『そもそも、受け取り難く、解釈しづらいメッセージ』を、延々と受け取ることになるかも知れません。

このように、コミュニケーションが上手く行かない場合に、

「人間の側が、ガイドに合わせられるよう努力する」

というのも1つの解決法ですが、別のアプローチとして、

「ガイドの側に、人間の流儀を学んでもらい、人間が受け取りやすいメッセージを送れるようになってもらう」というのもアリなのです。

● 主な対象者

【ガイドに対する『指導の仕方』指導】の想定する「主な対象者」は、

「付いているガイドの大部分が、地球経験が浅かったり、人間経験が少なかったりする」
「セラピストや教師など、複数人を指導する立場にある」

という人です。

アチューンメントを受けるにあたっては、(もちろん、いきなり受けていただいても構いませんが)まずは自分なりにチャネリング練習に取り組んで、とりあえず「YES/NO」を聞けるようになった上で、ガイドに、「地球経験や、人間経験はあるか?」「ガイド側の感覚として、このアチューンメントは必要そうか?」というのを尋ねてみると良いでしょう。

● 情報の送り手側の得意な知覚タイプについて

本テキストの中で、【超感覚の知覚タイプ】（『視覚型』『聴覚型』『体感覚型』）ということを紹介しましたが、実は、『情報を送る側』にも、

『ビジョンで情報を送るのが得意なタイプ』

『話しかけるのが得意なタイプ』

『体感覚で伝えるのが得意なタイプ』

というのがいたりします。

そして、『送り手の得意なタイプ』と、『受け手の知覚タイプ』が一致すると、非常にスムーズにチャネリングが成立します。

そのため、【ガイドに対する『指導の仕方』指導】における『高次のカリキュラム（フォローアップ研修）』の中では、『様々な知覚に対応したメッセージの伝え方』なども盛り込んであります。

● アチューンメントのその後

アチューンメント後は、特に人間の側で何かを行う必要はありません。

それまで同様、チャネリングで密にガイドとコンタクトを取って過ごして行ってください。

(コラム) ガイドの入れ替わりと引継ぎについて

ガイドは、複数付いていることが多いですが、そのメンバーは常に固定されているわけではなく、新しいガイドが加入したり、ガイドが入れ替わったりすることも多々あります。

中には、期間限定で、一時的に付いてすぐに離れるガイドもいたりします。

（ハイヤーセルフに関しては、あくまでも『自分（self）』なので、入れ替わるということはありません）

「ガイドが入れ替わったら、せっかく受けたアチューンメントはどうなるの？」と気になる方もいるようですが、ガイドが離れる場合、多くのケースでは「引き継ぎ」が行われるので、その際に『エネルギー的なテキスト・マニュアル・教材』等も引き継がれることになるでしょう。

また、仮に引継ぎが無かったとしても、【F1144・魔法使い養成学校】で行っている各種アチューンメントでは、『高次の世界でのフォローアップ』を提供しており、残ったガイドや、新しく入ったガイドたちが、学びを継続的に受けていくことが出来ます。

ですから、どんなタイミングでアチューンメントを受けても、それが無駄になるということはありません。

● ガイドに伝える内容（高次のテキストより一部抜粋）

ガイドに対して伝える『基礎知識』

- 高次の世界では物事がシンプルだが、物質世界ではとても複雑。
- 人間は、物質世界に入るにあたって、様々なブロックを持ち込んでいる。ブロックがあると、その分野の情報は極端に伝わりづらくなる。
- 多くの人は、高次の世界に対して、曖昧な知識しか持っていない。例えば、ガイドとハイヤーセルフの区別が付かなかったり、創造主とハイヤーセルフの区別が付いていなかったりする。
- 多くの人は、「高次の存在は、全て、清楚で、純粋で、聖なる存在」と思い込んでいる。
- 物質世界と高次世界での情報のやりとりは、様々な事情により大きく歪んでしまう。
- 高次の世界では「絶対感覚」で捉えるが、物質世界では「相対感覚」で物事を捉える。
- 高次の世界ではマルチロケーション（複数の場所に同時に存在）が可能だが、物質世界では基本的に不可能なことだと思込まれている。
- 人によって「理論的に言われると納得する」「感情でぶつかると受け入れられる」というタイプが異なる。
- 多くの人は、「願いは、必ずしも思った通りの叶い方をするとは限らない」ということを知らない。
- 物質世界では、「時間」と「空間」の制約がある。また、「お金」という制約もある。
- 本人の知覚が開いても、「無価値感（無力感）」のブロックがあるため、なかなか自分で積極的にガイドに繋がろうとしてくれないケースも多い。
- 本人が10万円をオーダーした際に、30万円を調達しても構わない。（ほとんどの場合喜ばれる）

ガイドに対して伝える『人間に対する情報の伝え方のコツ』

- 他の何かと比較する。
- 難しく理屈を捏ねくり回して伝える。
- ブロックを迂回するやり方で伝える。
- 複数の人間を通して、数日以内に同じことを何度も伝える。
- テーマを絞って、複数の角度から同じことを説明する。
- 「自分が誰か」というのを、明確に伝えてからコミュニケーションを始める。

ガイドに対して伝える『人間の持つブロックの迂回のさせ方』

- 儀式を利用する（特定のツールを使っているから OK、特定の場所だから OK という意識が働く）
- 他人を通す（自分は信じられないけど他人なら信じられる、ということが多い）

ガイドに対して伝えるその他のポイント

- 『すでに高次の存在と自在に交流できている人』を間に挟むと、認識してもらいやすくなる。いったん「エネルギーの回路」が出来れば、その後も、継続して情報を伝えやすくなる。

(コラム) 高次の存在は万能ではない・2

ガイドの中には、

「(人間として転生したことが無いため) 人間の考え方がサッパリ分からない」
「(お金の概念を持っていないので) なぜお金が必要なのか理解できない」

という存在も多々いたりします。

考えてみれば当たり前のことですが、

『人間の経験が無い存在』や、『遙か昔に狩猟民族として暮らしていた存在』がガイドだったとして、

「彼らに、『現代日本での出世の仕方』を尋ねても、まず、答えられない」

でしょう。

そして、「ガイドにも知らないことがある」「間違ったり、勘違いしたりすることがある」ということは、

「100%チャネリングに成功した結果、『誤った情報』を降ろすことがある」

ということです。

そもそもの情報が誤っていれば、いくらそれを正確に受け取っても、誤った情報を受け取ることになります。

例えば、チャネラーの予言が外れたからと言って、必ずしもそのチャネラーが無能というわけでもなくて、(もちろん、チャネラー側のフィルターで歪んだ可能性もありますが)
「情報を与えた側の存在に問題があった」というケースも多々あるものです。

ところで、実は、人間があれこれ思い悩むのと同様に、
ガイドの側も、

「なかなか思い通りに上手く導くことが出来ない・・・」
「これだけガンバって伝えているのに、一向に伝わらない・・・」
「何度証拠を見せても信じて貰えない！」

など、
悩んだり、迷ったり、途方に暮れたりもしています。

しかし、ガイドたちも、ただ回んで終わるのではなく、一念発起して他の高次の存在から色々教えてもらったり、人間の活動から学んだり、高次の存在に対する指導や教育を受けたりして、日々成長しています。

ですから、

「昨日出来なかったことが、今日は出来るようになっていくかもしれない」

というのは、人間だけでなく、高次の存在に対しても当てはまるのです。

5.5. 高次の世界への誘導について

● アチューンメントの概要

高次の世界には、『三途の川』『アカシックレコード』などを始めとした、様々な名所や施設があり、『体外離脱』といったスキルを身に付けることで、こうした場所を訪問・探索することが出来るようになります。

また、同種のスキルを用いて、いわゆる『過去生』を覗いてみたり、成仏できていない過去生を救出したりすることもできます。
(この辺りのことは、チャネリングコースの4か月目・5か月目でお伝えしています)

チャネリングコースでお伝えしているのは、『自分』が高次の世界を訪問出来るようになる」ですが、この【**高次の世界への誘導**】のアチューンメントを受けることで、『他者』を高次の世界へと誘導する」ことが出来るようになります。

高い次元まで誘導すると、「(クライアント側が) 高次の存在と交流しやすい状態」になるため、

『過去生救出セッション』
『高次元探索ワーク』

などの提供が容易になります。

● オススメスポット

高次の世界に存在する、施設・名称の一部を紹介します。
ここに挙げた以外にも、ガイドの誘導のもと、「オススメ」される場所を探索してみると良いでしょう。

意識レベル	スポット
生と死の境界	三途の川
輪廻転生の中継地点	計画センター (今生の計画を立てる所)
地球レベルのアカシックレコードがある領域	ヒーリングセンター
太陽系レベルのアカシックレコードがある領域	トレーニングセンター
銀河系レベルのアカシックレコードがある領域	アカシックレコード
	アイデアセンター
	ユーモアセンター
銀河系の外の領域	???
...	
外宇宙に繋がるターミナル	
...	

※ヒーリングセンター等、『異なる意識レベルの領域』に、同種の施設が存在する」といったこともあります。

※エネルギー体の強さによって「これ以上は行けない!」という限界があるため、相手を無理に上の次元に連れて行かないこと。

● 高次への誘導の流れ

高次への誘導の流れは、以下の通りです。

- 説明（「高次の世界への誘導とは何か?」「何が起こるのか」「何をすれば良いか」を説明する）
- 誘導（ガイドに依頼し、クライアントのエネルギーを上次元に引き上げる）
- 探索（自由行動。高次の世界を探索する）
- 帰る合図（タイミングを見計らって、自由行動終了の合図をする）
- 誘導（ガイドに依頼し、クライアントのエネルギーを物理次元に戻す）
- グラウンディング（**最後に必ずグラウンディングを行うこと!**）

誘導そのものに関しては、やり方をハイヤーセルフとガイドに伝えるので、人間が頑張る必要はありません。

ただし、

- 「クライアントに対して手順等を伝える」
- 「必要に応じて、指示・実況中継を行う」

などといったことは、人間が行う必要があります。

● 高次への誘導のポイント

誘導の際のポイントは、とにかく「ガイドに相談する」ということに尽きます。

ガイドはそれぞれ『行動範囲（担当範囲）』があるので、遙か高次の世界に行くと、普段地球でコンタクトを取っているガイドとは交信出来なくなることがあります。

そうした際にも慌てずに、適宜、現地ガイドとやりとりし、柔軟に判断して進めていきましょう。

なお、誘導される側は、基本的には目を閉じていた方が体験しやすいものですが、メモを取りたい場合などには、目を開けても OK です。

● 誘導文の例

「これからアカシックレコードを探索します。

上の次元に誘導しますので、私に付いてくるイメージをしてください」

「救出が必要な過去生のところに連れて行ってもらうよう、ガイドにお願いしてみてください」

「元の次元に戻りますので、また私に付いてくるイメージをしてください」

（※「付いてきてください」ではなく「付いてくるイメージ」という表現にすると、初心者に伝わりやすい）

6. ヒーリングセッションの実践

本章では、『ヒーリングセッションのやり方』についてお伝えします。

「ヒーラーとして活動したい」「ヒーリングを仕事にしたい」という人はもちろんのこと、家族に対してヒーリングを行う場合にも、本章の内容はぜひ押さえておいていただければと思います。

6.1. ヒーリングを行う際の注意点について

アチューンメントを受けることで、特別な修行をすることなくヒーリングエネルギーを流せるようになりますが、ヒーリングセッションを行う際には、いくつかの『注意点』や『やるべきこと』があります。

- 相手の学びを奪わないこと

ヒーリングを行う際の最大の注意点は、

「ヒーラーのエゴで相手を癒そうとしてはいけない」
「相手の学びを奪ってはいけない」

ということです。

人間、「病気を通して学ぶ」「事件を通して学ぶ」ということは多々あるものです。

にもかかわらず、ヒーラーのエゴでその学びを奪ってしまったら、クライアントは、必要な学びの機会を失ってしまいます。

この点に関しては、チャネリングの技術を身に付けて、ヒーリングを行う前に相手のハイヤーセルフやガイドに事前に許可を求めるようにすることで、安心してヒーリングセッションを行うことが出来ます。

- 物理次元の流儀に則ること

日本では、「**病気の診断や、医療行為を行って良いのは、お医者さんだけ**」です。

『医師法』『薬事法』などの法律を、しっかり守るようにしましょう。

また、「好転反応などについての知識を事前に伝えておくこと」や、「個人的な情報を口外しないこと」など、**ライトワーカーとしての活動を行う上で『果たすべき役割』や、『守るべき道徳』、『マナー』**がありますので、こちらにも気を付けるようにしましょう。

6.2. 効率良くエネルギーを流すためのポイント

効率良くエネルギーを流すためには、

『相手との信頼関係（ラポール）』

を築く必要があります。

また、エネルギーを流す際には、

『意図して、委ねる』（高次の存在の邪魔をしない）

ということが大事です。

この辺りのことを実際に『体感』出来るワークがありますので、ぜひ、実験&体験してみてください。

《ワーク》エネルギーを拒否する実験

2人でペアになり、手を繋いで、以下の順番でエネルギーを流したり、受け取ったりしてみましょう。

	流す役の人	受け取る役の人
1	普通にエネルギーを流す	積極的にエネルギーを受け取る
2	普通にエネルギーを流す	エネルギーを拒む
3	普通にエネルギーを流す	積極的にエネルギーを受け取る
4	「自分が癒さなきゃ！」と思って流す	積極的にエネルギーを受け取る
5	高次の存在に委ねてエネルギーを流す	積極的にエネルギーを受け取る

一通り体験し終えたら、役割を交代して、再度、ワークを行ってみてください。

流す側、受け取る側ともに、それぞれの違いを感じ取れることでしょう。

（コラム）受け手の同意を得ることについて

パートナーや家族に対してヒーリングを行う際に、相手がスピリチュアルなことを受け入れられない場合、『ヒーリング』という言葉を使うだけで拒まれてしまうこともあり得ます。

ヒーリングを行う際には、相手の『同意』を得ることが必要ですが、この際には、必ずしも『ヒーリング』という言葉を使わなくても、『癒し』という枠で同意が取れればOKです。

例えば、「仕事で疲れているみたいだから、マッサージして（ついでにヒーリングして）癒してあげるね」などといった表現でも、同意が成立し、エネルギーを流すことが出来ます。

6.3. ヒーリングセッションの流れについて

ヒーリングセッションの大まかな流れは、以下の通りです。

- ヒーリングの可否を確認する
- 重要事項を事前に説明する
- エネルギーを流すことに対して同意を得る
- ハイヤーセルフからエネルギーを流してもらう
- クライアントとのエーテルコードをカットする

➤ ヒーリングの可否を確認する

ヒーリングセッションを行う前に、自分のハイヤーセルフや、自分のガイド、相手のハイヤーセルフ、相手のガイド、それぞれに対して、

「そもそも、自分がヒーリングを行って良いか？」

というのを確認しましょう。

この確認は、遠隔で（メール越しなどで）行うことも出来ます。

場合によってはこの時点で『NG』が出ることがありますから、その場合はヒーリングを行わないことです。

NGが出た場合、『不可となった理由』を聞き出し、その後の対応について高次の存在たちと検討してください。

➤ 重要事項を事前に説明する

ヒーリングそのものに関して『OK』が出たら、続いて、クライアントに対して、

「ヒーリングセッションの注意事項について」

「ヒーリングセッションの流れについて」

「好転反応について」

などを説明しましょう。

スピリチュアルなことに対する理解度は、クライアントによって様々なので、こちらの基準で一方向的に話すのではなく、『相手が理解できるような用語』を使うなど、配慮することが必要です。

例えば、「ハイヤーセルフって何？ガイドって??」という人もたくさんいますから、必要に応じて（相手の受け皿に合わせて）、『魂』『指導霊』『守護霊』などといった表現を使うと良いでしょう。

➤ エネルギーを流すことに対して同意を得る

クライアントに、「〇〇さん（自分の名前）からヒーリングを受け取ります」と宣言してもらいます。

この宣言は、声に出さなくとも、「受け取る」と『意図』してもらえばOKです。

➤ ハイヤーセルフからエネルギーを流してもらう

ハイヤーセルフに対して

「クライアントが必要としているエネルギーを送ってください」

と、伝える（意図する）ことで、適切なエネルギーを流すことが出来ます。

この際には、「**自分が頑張れば頑張るほど、エネルギーは弱くなる**」ということに気を付けて、

『意図して、委ねる（高次の存在の邪魔をしない）』

ということを心掛けましょう。

ヒーリングの形態としては、『接触（身体に触れる、手を繋ぐ）』『手かざし』『遠隔』どれも可能です。

また、『一斉ヒーリング』や『コールイン』を行うことも出来ます。

（コールインに関しては、

【魔法使い養成講座】(<http://f1144.mahou-gakkou.net/mailseminar/kiso/>)を参照してください)

なお、「どれくらいの時間、エネルギーを流せば良いか」というのは、クライアントの状態によって異なりますので、これもハイヤーセルフやガイドに確認し、終わったら教えてもらうようにすると良いでしょう。

チャネリングに自信が無い場合は、「そろそろ十分かな？」と、何となく感じたら、そこで切り上げてしまって構いません。

➤ クライアントとのエーテルコードをカットする

十分にエネルギーが流れ終わったら、クライアントとのエーテルコードをカットして、終了です。

ヒーリング後は、『お水』（お茶やコーヒーではなく、純粋なお水）を飲むのが望ましいので、ヒーラー側でお水を準備して提供するのも良いでしょう。

6.4. プロとして活動することについて

もし、

「プロのライトワーカーとして活躍したい」
「ヒーリングで生計を立てたい」

という場合、
単にエネルギーを扱えるだけでは不十分で、

『プロとしての心構え』
『コミュニケーションスキル』
『ビジネススキル』

などといったものも、
相応のレベルで身に付ける必要があります。

プロとして活動したい方は、学ぶべきことがたくさんありますので、ぜひ『練習会』などにお越し下さい。

● プロとしての心構えについて

プロとして活動するにあたっては、「**成果に責任を持つ**」ということが必要です。

ライトワーカーは、他人の人生の分岐点に関わるが多いため、

「**自分の行動如何によって、時として相手の人生そのものを左右してしまうことも多々ある**」

ということは、しっかり認識しておきましょう。

実際、**チャネラー（占い師含む）のアドバイスを受けて、その後の人生を方向付ける人は少なくない**のです。

ですから、『ワークやエネルギーの質そのものが、素晴らしいものであること』というのはもちろんのこと、
『伝える情報の質』『伝え方』にも気を配り、相応の覚悟を持ってクライアントに関わる必要があります。

● ビジネススキルの習得について

ビジネス的な部分に関しては、【魔法の☆ビジネス講座】でお伝えしていますので、こちらを参照してください。



<http://f1144.mahou-gakkou.net/mailseminar/business/>

(コラム) 検証することの大事さ

スピリチュアルワークを行うにあたっては、『**高次の存在に委ねる**』というのが大事ですが、その一方で、

「結果を人間の側で『検証』する」

ということも、同じくらい大事なことです。

なぜ『検証』が必要かというと、

「人間と、高次の存在との間で、『成功の基準が違う』ということが往々にしてあるから」
「高次の存在が、『出来たかどうかの見極め』に失敗することもあるから」

です。

例えば、人間は（特に現代日本人は）「100のうち、100出来て、初めて『出来た』と評価する」ことが多いのですが、高次の存在は、「100のうち、1が出来たら、『出来た』と評価する」ということも多いものです。

高次の存在との交流は、異文化コミュニケーションそのものですから、人間側の感覚を当てはめようとする、思いもよらぬところで足元をすくわれたりします。

また、（スピリチュアルな世界に限らず）「自分よりレベルの高いことは、正確に把握できないもの」ですが、これに関しても、高次の世界においても同様で、『**ハイヤーセルフやガイドの理解を超える出来事**』というのも、当たり前のように存在するのです。

ですから、**ハイヤーセルフやガイドを信頼して委ねつつも、彼らの言うことを鵜呑みにしてはいけません。**

結果を受け取る際に、人間の側で、「自分が望む基準での結果が出ているか」というのを改めて検証（検収）する必要があります。

（余談ですが、これは、物質世界におけるビジネスの現場でも同様で、部下や上司を信頼して仕事を任せつつも、成果物に対して自分自身でもチェックを行うことは不可欠です。特に、最終成果物に対して自分が責任を負う場合は尚更です。）

なお、「どのようにして検証すれば良いか？」に関しては、

『実験して、確かめる』

『チャネリングにより、高次の存在に対して、背景や理由、根拠などを、納得出来るまで問い質す』

『知覚の開いた複数の人（または、複数の高次の存在）から、多面的にチェックしてもらう』

というのが有効でしょう。

そのためにも、『チャネリングを習得すること』や、『学び・検証の場に参加すること』をオススメします。

7. エネルギーワークに関する応用知識・実践

本章では、『エネルギーワークに関する応用的な知識』や『知覚を開くためのワーク』についてお伝えします。

7.1. エネルギーグッズ製作について

エネルギーを扱えるようになると、いわゆる『エネルギーグッズ』を、自分で創ることが出来るようになります。

ただし、『エネルギーグッズの創り方』にはいくつかコツがあり、
例えば、

「時間が経ってもエネルギーが抜けないようにする」

というのは（特に、商品化・配布・販売するのであれば）重要です。

ライトワーカーの中には、自作のエネルギーグッズを創っている人もいますが、このあたりの処理が甘いものも少なからず存在し、「**お客さんの手元に届く頃にはすでにほとんどエネルギーが抜けている**」ということもあるようです。

時間が経っても抜けないような形でエネルギーを入れられるかどうかは、自分の（ハイヤーセルフやガイドの）
力量次第で、必ずしも、いきなり誰でも出来ることでは無いようです。

なお、【セルフエナジーコネクション・アチューンメント】を受けられた方に関しては、
この『時間が経っても抜けないエネルギーの入れ方』というのが高次のカリキュラムに含まれているので、
あとは、

「どんなエネルギーを入れるか（ヒーリング、浄化、プロテクション、チャネリングのサポート等）」
「オプションの機能をどうするか（自己浄化機能など）」
「いかに委ねるか（邪魔しないか）」

というのに注力することになります。

● エネルギーグッズの創り方

エネルギーグッズの創り方としては、

「素材の浄化を行った上で、いったん、モノの人生を終わらせ、（チャネリングで、モノに同意してもらい）、
改めて、モノに魂（エネルギー）を入れる」

といったイメージです。

ここでも、エネルギーを入れる作業はハイヤーセルフが行うので、**『意図して、委ねる』**というのが大事です。

● 検証することについて

ハイヤーセルフが「出来た！」と言っても、それが『人間が望む基準』で出来ているとは限らないので、

『自分の望む品質のものが出来ているかどうか(浄化・ヒーリングなどの効果が、望んだレベルで発動するか)』
というのを、人間側で『検証』することが大事です。

『望んだレベルのものが出来ているかどうか』を検証するためには、例えば、以下の方法があります。

「エネルギーが分かる人（知覚が開いている人）にチェックしてもらう」

「チャネリングで、エネルギーを入れた存在以外に、十分な品質で出来ているかを尋ねてみる」

「キネシオロジーでチェックする」

「ダウジングでチェックする」

「実際に自分で使ってみる」

「友人や家族に使ってもらう」

「モニター募集を行い、不特定多数の人に使ってもらう」

「数週間～数か月置いて（イメージで時間を進めてみても可）エネルギーが抜けないか確認する」

「サイキックアタックをぶつけてみて、耐えられるかどうか確認する」

● その他の注意点

エネルギーグッズの素材（カードの台紙など）は、仕入れた時点で、『生産者・流通業者のエネルギー』が乗っている
ので、扱う前に必ず浄化するようにしましょう。

また、『エネルギー入りの画像』や『エネルギーカード』を作成する場合、イラストにもエネルギーが入るので、
フリー素材などを使用するのではなく、自分で絵を描くのが理想です。

(コラム) 神社のお守りについて

「お守りは、毎年新しいのに買い替えた方が良い」という話がありますが、とある（日本最大級の）神社で売っているお守りのエネルギーをチェックしてみたところ、確かに、1年程度でほとんどのエネルギーが抜けているようでした。

どの神社の、どのお守りも、同じように1年で抜けてしまうのかまでは未検証ですが、
とりあえずこの結果を見る限りでは、古いお守りを使い続けている人は、一度、どこかのタイミングで、エネルギーチェックを行ってみるのが望ましいと言えるでしょう。

それにしても、これがビジネス的な戦略によるものなのか（買い替え需要を狙っているのか）、
それとも製作者の力量なのか・・・気になるころではあります。

7.2. 浄霊について

物理的な不調や、痛みの原因が、実は「霊によるもの」というケースは実際にあります。
(その一方で、ホントは霊障ではないのに、霊のせいになっているケースもあるのですが・・・)

【スピリチュアル基本セット】の中には『浄霊が出来るようになる』というのが含まれていますが、

「浄霊を行うにあたって、知っておくべきこと」
「浄霊を行うにあたって、覚悟しておくべきこと」

というのがいくつかありますので、ここでお伝えしておきます。

● 浄霊に関する注意点

霊に関わっていく上での最大の注意点は、

「不用意に霊に関わらないこと」

です。

「霊は、構ってくれる人に寄ってくるもの」なので、浄霊を行えば行うほど、霊に寄り付かれやすくなります。

多くの場合、霊そのものには害意が無いものの、

『浄霊セッション』などを行う際に、プロテクションが甘いと、クライアントの症状を引き受けてしまう」

ということはある得ますから、
興味本位で浄霊を行うのは避けるようにしましょう。

特に、霊媒体質の人が浄霊を行うのは自殺行為ですので、「霊に鈍感な人」に任せるのが望ましいと言えます。

また、**霊障は、「取り憑かれる方にも問題がある」**ということも多いものです。

『取り憑かれやすい人』というのは、依存心を持っていることが多く、往々にして、
霊と『共依存』(お互いに依存し合っている状態)に陥っており、本人が変わらない限り霊に取り憑かれ続ける
こととなります。

ですから、浄霊を行う場合、単に霊を成仏させるだけではなく、

「本人の考え方が変わるよう、メンタル面でのサポート・教育を行う」

というところまで、
しっかり面倒を見る必要があります。

● 霊のパターンと浄霊方法

『不成仏霊』は、大まかに分けて、以下の3パターンに分類できます。

- (1) 「自分が死んだことに気づいていない霊」
- (2) 「死んだことには気づいているものの、どうやって成仏したらよいか分からない霊」
- (3) 「何かしらの理由があって、自分の意思で現世に留まっている霊」

このうち、(1)(2)に関しては、チャネリングで『成仏することに対する同意』を取って、『天国へと続く光の柱』をイメージすればOKです。

(この際、実際の「光の柱を立てる作業」は、ハイヤーセルフやガイドが行うので、邪魔しないように！)

『成仏することに対する同意』を取る際には、(霊の側でも、「最近、何かおかしいぞ」と思っているようで「あなたはすでにお亡くなりになっているんですよ」と伝えるだけで、理解してくれることが多いものです。

(3)の場合には、『霊に対するカウンセリング・セラピー』を通して、霊の悩みを解決する必要がありますが、これは『人間に関するカウンセリング・セラピーの手法』が、ほぼそのまま通用します。

(コラム) 退魔師の行き着くところ

世の中には『退魔師 (魔を退治する人)』という存在がありますが、彼らは、実は、『退治』という方法を選んだ時点で、「分離の発想 (ネガティブエネルギー)」に根ざしています。

セッションを行って魔を払うたびに、自分の中で分離のエネルギーを生産し、クライアントが抱えていた『魔 (と呼ばれるもの)』に浸食され・・・
身を削り、心を削り、**最後には自分自身が魔になってしまう (そうなるまで続ける)** ことになるでしょう。

ファンタジー作品などで、「魔を狩る人自身が魔物になってしまう」という展開はありがちなものですが、実は、スピリチュアル的な観点から見ても、それなりに的を射ているのです。

さらに、潜在意識的な観点からすると、

「『救いたい』という想いが、『救わなければならない人』を創るもの」
「『加害者』とは、『「被害者」の被害者』 (被害者によって加害者に仕立て上げられているもの)」

です。

なので、『一見ネガティブに思える存在』に対峙する場合でも、『退治』という発想で臨むのではなく、

「愛で溶かす」
「愛の側面を拡大させる」

という発想で向き合うのが望ましいと言えるでしょう。

7.3. 知覚を開くためのトレーニング法

まれに、アチューンメントを受けたことがキッカケで『スピリチュアルな知覚』が開くこともありますが、原則としては、知覚を開くためには、『適切なトレーニングを積むこと』が必要です。

ここでは、『知覚を開くためのトレーニング法』について、いくつか紹介します。

≪ワーク≫視覚強化トレーニング

基本図形や基本色を描けるようになるための、「筋トレ（スピリチュアル筋力トレーニング）」的なワークです。

【パターン1】

- 1, まず、目を閉じた状態で、「赤」を思い浮かべます。
- 2, 次に、「青」「緑」「黄」「紫」「黒」「白」と、様々な色に変えていきます。
(順番はバラバラで可。色数を増やすのも可)
3. 一通りの色を体験したら、今度は、色を視覚の全体、全画面～360°に広がります。
4. 同様に、色の視野を広げた状態で、色を次々と変えていきます。

【パターン2】

- 1, まず、目を閉じた状態で、「○」を思い浮かべます。
- 2, 次に、「△」「□」「◇」と、様々な形に変えていきます。(順番はバラバラで可)
- 3, さらに、形を色々と変えつつ、大きさも変えていきます。

≪ワーク≫ガイドとの文通

『ガイドとの文通（キーボードを使った現代版自動書記）』（<http://f1144.mahou-gakkou.net/correspondence/>）を行うことで、文章としてのメッセージを降ろしやすくなり、また、固有名詞なども受け取りやすくなります。

(※もちろん、紙とペンを使って、普通の自動書記を行っても構いません。

パソコンを使うことによって、記録が残しやすく、ブログ等でシェアしやすいというメリットがあります)

【やり方】

- 1, パソコンを起動し、メモ帳やワードといったソフトを起動します。
- 2, ガイドに意識を向け、一人二役で、『自分の発言』と、『ガイドの発言』をひたすら入力していきます。

文字を入力する際には、最初はとにかく本文を打つことだけに集中して、一通りの文章が書き上がってから、「誰の発言かを書き足す」「誤字や脱字を修正する」といった形にすると、流れに乗って書き出すことが出来ます。

《ワーク》体感覚強化トレーニング

道具を一切使わずに、『対象のエネルギーを読み取る力』を磨くためのトレーニングです。

【やり方】

- 1, 『良いと分かっているもの』に意識を向け、「良いエネルギーの感覚」を掴みます。
- 2, 『悪いと分かっているもの』に意識を向け、「悪いエネルギーの感覚」を掴みます。
- 3, 気になる対象に意識を向け、「良いエネルギーと悪いエネルギー、どちらの感覚に近いか」を探ります。

良いものの代表例： 「自然」「楽しい思い出のある写真」など

悪いものの代表例： 「電磁波を発するもの」など

(※パワーストーンなどのエネルギーグッズは、浄化の程度によって状態が変わるので不向きです)

《ワーク》エネルギー肩もみ（2人用）

エネルギーワークの効果を体感すると共に、体感覚とイメージ力を磨くためのトレーニングです。

【やり方】

- 1, 普通に「肩もみ」をします
- 2, エネルギーを流しつつ、「肩もみ」をします（あまり力は強くなり過ぎないように）
- 3, エネルギーを流しつつ、イメージでエネルギーの指を伸ばし、「相手の内臓の弱っているところを揉むイメージ」をしながら「肩もみ」をします。

《ワーク》超感覚強化トレーニング（2人用）

視覚・聴覚・体感覚、全ての超感覚を刺激し、エネルギーを表現する力を磨くためのトレーニングです。

【やり方】

- 1, 『エネルギーを流す役』『エネルギーを受け取る役』を決めます。
- 2, 手を繋いで、エネルギーを流しながら、
 - 「もし、エネルギーが色で見えるとしたら、何色か？」
 - 「もし、エネルギーが形で見えるとしたら、どんな形か？」
 - 「もし、エネルギーが音で聞こえるとしたら、どんな音か？」
 - 「もし、エネルギーを体感覚で感じるとしたら、どんな感じか？」などと、フォーカスする知覚を変えながら、エネルギーに対する感覚を探っていきます。

流すエネルギーを変えると、見え方・聞こえ方・感じ方が変わるので、色んなエネルギーを流し比べ、受け比べすることで、その『違い』に関する感覚が磨かれていきます。

おわりに

多くの方が、**高次の存在のことを「全知全能だと勘違い」**しています。

そして、『**高次の存在であれば、全てが無条件で素晴らしい存在だと思い込んでいる人**』も多々見かけます。

例えば、「天使に対してどんなイメージを持っていますか？」とアンケートを取れば、ほとんどの人が、
「優しくて、光に包まれていて、羽が生えていて、清廉潔白で・・・」
などといった感じの存在を想像することでしょう。

確かに、そんな天使の一面もあります。

・・・が。

これは、言わば、「**その業界の超一流の人の、仕事モードの営業スマイル**」であり、それが全てでは無いのです。

チャネリングを習得し、思い込みを外して彼らとコンタクトを取れば、

「あ、意外とフレンドリーなんだな」
「結構抜けてるんだな」
「あの羽って着脱可能（収納可能）なのか」

などというのが分かると思います。

スピリチュアル業界では、よく、「**あなたも私も、完璧な存在なのですよ**」という話が出てきたりしますが、これは実際その通りです。

ただし、『**完璧**』ではありますが、『**万能ではない**』ものです。

実際、読者の皆さんも、もちろん僕自身も、知らないこともあれば、出来ないこともあるでしょう。

同様に、人間だけでなく、

「**ハイヤーセルフやガイド、守護霊、天使、様々な神々、潜在意識までも、『完璧ではあるが、万能ではない』**」
ということなのです。

ありもしない幻想を抱くのではなく、彼らの実力を過大評価することなく、かつ、過小評価するでもなく、
正當に評価し、等身大に付き合うことが大事です。

さて、本編でもお伝えしましたが、『誰もが、本来、当たり前のようにスピリチュアル能力を扱える』とはいえ、それを「高いレベルで活用しよう」と思ったら、『相応のトレーニング』を積む必要があります。

例えば、『走る』ということは、多くの人にとって、特別なトレーニングをすることなく実現できるでしょう。

ですが、『プロとして走る』（大会で上位入賞できるレベルで走る）となると、これはトレーニングなしでは到底実現することはできません。

アチューンメントによって能力を付与することは出来るとしても、その能力を効率よく発揮するための、

『邪魔しないトレーニング』

『委ねるトレーニング』

というのは、人間の側で、徹底的に行う必要があります。

もちろん、100人が100人ともプロになる必要はありませんが、少なくとも、

「スピリチュアル業界において、自分はどこを（どのレベルを）目指しているのか？」
「今生において、スピリチュアルなことに対して、どのように関わっていきたいのか？」
「そのためには何を身につける必要があるのか？」

というのは、自分の中で明確にしておくといいでしょう。

最後に、まとめとして・・・

- 物質世界と、スピリチュアルな世界のバランスを取ることに
- 『物質世界のルール』に則り、『意図の力』を過信しないことに
- 能力と人格は関係ないということ
- ヒーリングなどを行う際には、高次の存在に委ね、その働きを邪魔しないことに
- 高次の存在の言うことを鵜呑みにせず、自分で検証して確かめることに
- 教えられた知識と、実際に体験した内容が食い違った場合、自分の体験を優先することに
- 相手の自由意思を尊重し、相手の学びを奪わないことに

などは、特に気を付けていただければと思います！

もちろん、ここで挙げた以外にも、『スピリチュアルな世界に関わっていく上で大切なこと』は沢山ありますし、そのエッセンスをこのテキストに詰め込んでいますので、ぜひ、本書を繰り返し読んで、自分の中に落とし込んでくださいね！

それでは、引き続き、物質世界とスピリチュアルのバランスを取って、楽しんで学びを深めていきましょう！